

8000

第一號

十月八日

調查資料第六三號

四九四

華北京漢線各市縣之社會團體
政治團體及其他文化團體並宗教調查

三ア

支那室二部 策定
支那事變政史編纂部

興亞院華北連絡部

陸軍



6000

調查資料第六十三號

多田	昭和三十五年
部隊	九月五日
本部	參四經由第一五九號

昭和十五年八月二十八日

華北京漢沿線各市縣ニ於ケル

社會團體、政治團體及其
他文化團體並ニ宗教調查

政務局調查所

興亞院華北連絡部

配付先

一 部内 (政務局庶務渡)	一	三	部
一 蒙疆連絡部	一	一	部
一 青島出張所	一	一	部
一 華中連絡部	一	一	部
一 厦門連絡部	一	一	部
一 本院政務部	一	三	部
參謀本部支那課長	一	二	
陸軍省軍務課長	一	一	
大臣官房	一	一	
ヲ含ム			
一 多田部隊本部	二	一	部
一 北京日本憲兵司令官	一	一	部
一 北京海軍武官室	一	五	部
計	八	〇	部

- 一、本資料ハ昭和十五年二月二十五日ヨリ同年三月末日マテノ期間調査所囑託鮑激夫ヲシテ出張調査セシメタルモノナリ
- 二、宗教ノ中基督教狀況ハ別ニ報告スルコトトシ此處ニハ掲載セス

第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第
 十 十 九 八 七 六 五 四 三 二 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章

易 縣 定 望 涿 宛 良 定 獲 石 清
 經 興 都 平 鄉 鹿 門 苑
 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣 市 縣

目次

五	五	四	四	四	三	二	二	二	一	一
六	三	九	七	〇	四	九	五	一	四	一
頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁	頁

第十二章	涞水縣	六〇頁
第十三章	正定縣	六三頁
第十四章	徐水縣	六七頁
第十五章	新樂縣	七三頁
附錄		

河北省保定道團體及宗教統計表

七六頁

第一章 清苑縣

第一節 社會團體、政治團體、思想團體及其他文化團體

第一、概況

清苑縣（保定）ニハ政治團體一、社會團體八、宗教團體一、合計十團體有リ、

即チ華北和平協會保定分會、紅十字會保定分會、正字慈善會保定分會、中國紅十字會保定分會、中國同教聯合會保定分會、中國內河航運公會保定分會、全節堂、育嬰堂、百善堂、掩骨會ノ十團體アリ、全節、掩骨二堂ハ事變ノ影響甚タ大ニシテ補救スルニ非サレハ將來ハ停止スルコトアルヘシ

第二、各團體狀況

一、世界紅十字會保定分會

(一) 概況

1. 所在地 保定城內北大街

2. 主腦者 東如原、男性、五十七歲、河北省房山縣人、直隸優級師範畢業

3. 設立目的 疾患ノ救濟及世界和平ノ促進

4. 創設年月及沿革 民國十二年七月二十九日、許東藩ニ依リ發起創立サル、元會址ハ平家胡同ニ在リシモ二十七年八月ニ至リ現會址ニ移轉ス

途中國二十一年頃衰ヘタルコト有ルモ二十四年頃ヨリ漸次常態ニ恢復セリ

(二) 機構

會長、副會長各一人有リ其ノ下ニ總務、防災、救濟、慈善、儲計、交際ノ六股ヲ設キ、各股ニ主任一人幹事若干人ヲ設ク

(三) 會員數

男性一三九名、女性七十名合計二〇九名商人カ多數ヲ占ム、
(四) 財産及經費

1. 不動産 家屋二十八間、價格七千二百元

2. 經費 常年三百三十五元、會員ノ會費ヲ以テ之ニ當ツ

(五) 施設

中西醫施診所、紅卍字會第一小學ノ二有リ、其ノ狀況左ノ如シ
1. 中西醫施診所

(1) 内容 貧困者ニ對シテ施藥施診ヲ爲ス

(2) 職員數 二人

(3) 經費 約八十元、本所ノ收入及ヒ卍字會ヨリ添補助金ヲ

以テ之ニ當ツ

2. 紅萬字會第一小學

二、正字慈善會保定分會籌備處

(一) 概況

- (1) 内容 學生一百人有リ四組ニ分リ、教科書ハ會ヨリ供給シ學費ヲ徵收セス
- (2) 職員數 教職員六人
- (3) 經費 紅卍字會ヨリ毎年四百元ヲ支給ス
- (4) 事變影響 無
- 1. 所在地 保定城内中新街
- 2. 主腦者 程敏、男性、五十歲、保定人、商人
- 3. 設立目的 災難ヲ救済シ民衆ノ福利ヲ圖ルヲ以テ設立ノ目的トス
- 4. 創設年月 民國二十八年十月設立ノ準備ヲ開始セシモ未タ成立セス

(二) 機構

籌備主任(一人)ノ下ニ總務組交際組ヲ設ク

(三) 會員

一百餘人有リ、多クハ商人トス。

(四) 財産及經費

1. 財産 無

2. 經費 每月三百元、會員ノ會費ヲ以テ之ニ當ツ

(五) 施設

無

(六) 事變影響

無

三、中國紅十字會保定分會

(一) 概況

1. 所在地 保定城內大行山宮

2. 主腦者 賈興福、五十歲、保定人、師範學校畢業

3 設立目的 人類ノ救済

4 創設年月及ヒ沿革 民國二十年成立セルモ二十二年以來停止

(二) 機構

會長一名、ソノ下ニ總務、交際二股ヲ設ク

(三) 會員

従前ハ會員四十名有リシモ、現在ハ無シ

(四) 財産及ヒ經費

無

(五) 施設

無

(六) 事變ノ影響

無

四 中國同教聯合會北京區保定分會

(一) 概況

所在地 保定城内清真寺

2. 主腦者 馬小眉、男性、七十七歲、保定人、清真寺教長ニ歴

任ス

3. 設立目的 在中國教徒ノ結束ヲ固クシ反共ノ線ニ邁進スル爲

メ

4. 創立年月日及ヒ沿革 民國二十七年五月十二日創立サル創立

者ハ楊觀元ニシテ後馬小眉カ其ノ後ヲ繼ケリ

(二) 機構

委員長一名、副委員長二名、委員四名

(三) 會員 四六九八名

(四) 財産及ヒ經費 無

(五) 施設 無

(六) 事變ノ影響 無

五、中國内河航運公會保定分會

(一) 概況

1. 所在地 保定新聞街電話五五八

2. 主腦者 董求平、五十才、保定人、政界人

3. 設立目的 青幫ノ力ヲ結束シテ水路ノ交通ヲ保護シ、以テ新

政權ノ發展ニ貢獻セントス

4. 創立 民國二十八年一月

(二) 機構

分會長（華系）一名、理事會派遣員（日系）二名有り、其ノ下

ニ總務、會務ノ二股ヲ設ク

安新、東安、新安鎮ニ各々辦事處ヲ設ケ、各々處長辦事員若干

名ヲ設ク

(三) 會員 二十八年一七七八名

(四) 財産及ヒ經費

1. 財産 無

2. 經費 毎年一萬二千元

(五) 施設 無

六 育 嬰 堂

(一) 概 況

1. 所在地 保定城内

2. 主腦者 許聘鄉、保定人、五十三歳、師範學校卒業

3. 設立目的 嬰兒ノ救濟養育ヲ目的トス

4. 創設及ヒ沿革

清朝同治八年ニ直隸總督劉長佐カ創設セルモノトス、初メ其ノ規模ハ極メテ狭小ナリシモ會國藩、總督トナルニ及ヒテ改良ヲ加ヘ又光緒元年李鴻章直隸督統トナリテ、家屋ヲ増築シ基本金ヲ募集スルト同時ニ各縣ノ鹽商質屋資本金ノ毎月利息

四百餘兩ヲ其ノ基本金ニ加ヘタリ、而テ又保定ノ士紳ヲ董事ニ任シテ監督管理セシメタリ、民國ニ至リ軍閥政ヲ亂スニ至リ軍閥ハ其ノ基本金ヲ濫用シ或ハ私服シテ後ニ位カノ基金ヲ殘スノミナリ、其ノ上二十七年事變後改組シテ嬰兒及ヒ兒童ハ増加シテ經費ハ増加セルモ收入ハ減少シテ經費ハ不足セリ

(二) 機構

民國二十七年董事會成立シ事件有ラハ其ノ都度開會スルコトトナレリ、經常事務ハ堂長カ責ヲ負フ、嬰兒ノ教養方法ハ收容者ヲ成嬰乳^{嬰二部}分チ、乳婦一名ハ乳嬰八名ヲ擔任ス、每部女管理員一名ヲ設キ若シ收容嬰兒多クシテ乳婦不足ノ時ハ城郷ノ乳アル女ニアツケテ養育セシメ、毎月給乳代金トシテ二圓ヲ與フ、成嬰カ學齡日ニ達スレハ學校ニ入レル、其ノ費用ハ本堂カラ給與ス

情性純笨ナル者ニハ手工業ヲ見習ハシム事變前ニハ織毛布科及ヒ毛巾科有リシモ事變ニ際シ破壊サレ未タ復興サレス
 女兒青年ニ達スレハ當堂ニ於テ結婚ヲ世話シ其ノ嫁入道具等ハ一切本堂ヨリ給與ス

光緒三十二年ニ布政使(官名)增韞ハ本堂ノ女兒甚々多カリシヲ以テ、鹽事吳旬侯及ヒ梁式堂ニ命シテ其等女兒ノ爲メニ直隸女子學堂創立セシメタリ、其後本學堂ハ省立第二女子師範學校ニ改組サレタリ、學堂時代女兒二百餘名有リテ全部入校セシメタリ、

毎年女生徒數十名ノ卒業生有リカ地方ノ紳士ハ相爭ヒテ求婚セリ殊ニ織染ノ成績優良ナル者ハ農村ニ於テ歡迎サレタリ、

(三)現有嬰兒數

乳嬰兒三十一名、不具者九名、成育セル兒童八名、男女合計五

十三名

(四) 財産及ヒ經費

1. 財産 家屋二ヶ所價格約七萬圓

2. 經費 家賃收入月四百元、省公署補助金月百圓、縣補助金

月二十圓合計五百二十圓ノ收入有ルニ對シ毎月六百三十圓ノ支出有リ百圓ノ不足トス

(五) 事變ノ影響

事變ニ際シ嬰兒及ヒ管理人ハ全部ノ動産及ヒ基本金ヲ携帶シテ避難逃亡セリ、此ノ時工業施設ハ破壊サレタリ、本年ハ物價騰貴ニ依リ經營困難トナリ、又各學校ニ於テモ本堂ノ兒童ヲ普通ノ生徒ト同シク待遇シテ優待セサルヲ以テ嚴冬ニモ棉衣ヲ着サル者有リ、本堂ハ實ニ經營困難ノ状態ニ在リ

七全 節 堂

(一) 概況

1. 所在地 保定椿樹胡同

2. 主腦者 育英堂ト同一人

3. 設立目的 貧困ナル寡婦及ヒ扶養者無キ子女ヲ收容シテ救済スルヲ目的ト爲ス

4. 創設及沿革

清朝道光初年頃、邑紳胡太史叔琳ナル者有リ、氏ハ品學兼優ノ儒者ニシテ、資産家ナリキ、或ル年、萬家ノ灯火春ヲ迎フル頃、或ル夜、胡氏ハ街ヲ散歩セリ、其ノ時、突然、凄慘ナ泣聲ヲ聞キ、急キテ門ヲ入ルニ、老婦ト少婦カ相抱キテ泣キ居レリ、其ノ理由ヲ問ヘハ、此ノ二人ハ共ニ寡婦ニシテ、家貧ナル爲メ、少婦ヲ富家ニ賣リテ、其ノ金テ以テ老婦ヲ養ハントスルモノナリト、少婦ハ其ノ亡キ夫ヲ想ヒ、其ノ家ヲ去ルニ忍ヒス故ニ相共

ニ泣ケリ

胡氏ハ此レヲ聞キテ直チニ其ノ富家ニ聘金ヲ還シ同時ニ少婦ニハ毎年其ノ生活費ヲ與ヘテ其ノ節ヲ全ウセシムルコトトセリ、後胡氏ハ更ニ自分ノ十二間ノ家屋及ヒ銀四千兩ヲ寄附シテ節婦ノ收容ニ當テタリ、此レヲ全節堂創始トス

當時寡婦十二家ヲ收容セリ、道光二十四年直隸總督訥近堂カ此レヲ擴充シ、舍屋ハ保定ノ紳士達カ輪流保管シテ五十家ノ節婦ヲ養ヘリ、光緒元年直隸總督李文忠ハ寄附金ヲ爲シテ舍屋ヲ擴充セリ、當時基本金合計二萬七千兩有リ、節婦兒女合計百戸、二百餘名ヲ收容セリ、堂中ニ塾舎二有リテ節婦ノ子女ニ讀書ヲ授ケタリ

光緒三十一年保定知府朱經田ハ其ノ塾舎ヲ兩等小學校ニ改組シ光緒三十二年ニ女子學校ヲ増設セリ、然ルニ民國以來漸次

衰へタリ

(二) 機構及ヒ内容

堂長一名、事務員一名、女管理員一名、ボーイ三名有リ、五十歳以上ノ貧困者ニシテ自活ノ力無キ女及ヒ其ノ子女ヲ收容ス、入堂ニ當リテハ公正ナル紳士二人カ保證シ調査ノ結果證明ノ確實ナリト認メタル者ニ入堂ヲ許ス、子女ハ六歳ニ至ラハ、小學校ニ入學セシム、天資ノ鈍笨ナル者ハ退學セシメテ工藝ヲ修メシム、子女ノ在堂ハ滿十五歳迄トス、節婦ノ本堂ニ於テ病死セル時ハ埋葬費ヲ與フ

(三) 收容人數

寡婦及ヒ其ノ子女合計一百五十名

(四) 財産及ヒ經費

ノ財産 家屋兩所、價格約七萬元

2. 經費 家賃收入月四百圓、省補助費月百元、縣補助費月二十圓、合計五百二十圓ノ收入有ルニ對シ月支出ハ七百圓ニシテ經費ハ毎月不足ナリ

(五) 施設 無

(六) 事變影響

事變ニ際シ堂内ノ織布科、毛巾料全部破壊セリ、基本金ハ民國以來軍閥之ヲ私服シ事變ニ際シ全ク失ハル

八百善堂義櫛會

(一) 概況

1. 所在地 保定城内三家地

2. 主腦者 周幼珊、保定人、六十六歲、清朝進士、政界人

3. 設立目的 貧困ナル家ニ死人有リテ棺ヲ買フ力無キ者有リ、斯ルモノニ棺ヲ施ス目的ヲ以テ、商會ノ同志ニ依リ設立サレ

タリ

5. 創設及ヒ沿革

清光緒二十年保定城内ニ黄炳南ナル天津人居住シ、慈善ヲ好メリ、當時縣長徐明勳ハ黄炳南ニ對シ銀二百五十兩ヲ寄附セシヲ以テ園地十畝ヲ購入シ、又衣服、粥及ヒ棺ヲ施捨セリ、後光緒二十六年八月ニ英佛聯合軍ノ入城セシ時、避難セル婦女子三千餘戸ヲ收容シ又女子工場ヲ創メタリ、當時此等ハ皆ナ黄炳南一人ニ依リ行ハレタリ、民國七年六月黄氏ハ病歿セシ爲メ本會ハ停止セリ、三個月停止ノ後饒幸ニモ冉東江、孔富臣等三十三人ニ依リ再ヒ復興サレタリ、而テ此レヨリハ唯棺ノミヲ施捨セリ、現在會員ハ三百四十人有リ

(二) 機構

正會長一名、副會長一名、職員二名

(三) 會員

現在ノ會員ハ男三百三十六名、女四名合計三百四十名

(四) 財産及經費

不動産及ヒ動産無シ

經費ハ毎月二百十一圓ニシテ會員之ヲ負擔ス

(五) 工作狀況

凡ソ貧民病死シテ棺ヲ買フ力無キ者ハ調査ヲ行ヒ確實ナラハ直チニ棺ヲ施ス

(六) 事變影響

無シ

九 掩骨會

(一) 概況

1. 所在地 保定城内關帝廟内

2. 主腦者 寂順和尚、保定人、四十歳、僧侶

3 設立目的 凡ソ百善堂ヨリ棺ヲ施サレタル者ハ固ヨリ埋葬ノ力無シ、依テ此レヲ本堂ニテ無料埋葬センコトヲ以テ目的トスルモノナリ

4 創立及沿革

民國十六年地方ノ人士二十六名ニ依リ發起創立サレタルモノナリ、和尙寂順ヲ會長トス、モトハ馬神廟ニ會ヲ置キシモ民國二十八年十二月關帝廟内ニ遷移セリ

(二) 機構

會長一名、職員三名

(三) 會員

男性二十六名、女性無シ

(四) 財産及ヒ經費

不動産無シ、動産、家具約五十圓

經費毎月四十餘圓、會員之ヲ負擔ス

(五) 工作狀況

百善堂ヨリ棺ヲ施サレタル家ニ本堂ヨリ直チニ會員四五名ヲ派
シ無料ニテ埋葬ス

(六) 事變ノ影響

會員數 減少シテ會費收入ノ減セシ爲メ無料埋葬シ爲ス數ハ少
クナレリ

六 華北和平協會保定分會

本會ハ北支軍司令部ノ指導下ニ民衆ニヨリ組織サレ新中央政權成
立ノ宣傳擁護ヲ以テ成立目的ト爲ス而テ本地警備隊^{指導}ノ下ニ工作シ
内部ノ組織無シ、本會ハ右述ノ目的ヲ以テ成立セルヲ以テ、新中
央政權樹立完成ノ曉ハ解消スルテアラウ

第二節 宗教

第一、概況

保定城内外ニハ同、佛、道教盡ク存スルモ十分ニハ發達セス、城内外ノ寺廟ハ或ハ辛ウシテ道僧ノ生活ヲ支ヘ得、或ハ社會ノ不景氣ノ爲メ道僧無ク唯寺庙ノミ存スル有リ、道佛ノ衰微ハ民國十七年以來ノ國民黨ノ宗教ニ對スル反對破壞後殊ニ甚シ、同教ハ保定ニ清真寺三處ヲ設立シ以ツテ國民禮拜ノ場所トセリ、其生活ハ教規ヲ嚴格ニ遵守スル外ハ一般漢民ニ同シ、國民ノ職業ハ多クハ商業トス

第二、同教

(一) 寺院數 教長數 教徒數

1. 保定城内北郡清真寺、教長宛錫三、保定人、教徒一千四百八十八名

2. 保定城内東清真寺、教長閻忠義、保定人、教徒三千二百二十名

3. 保定城内東清眞寺、教長馬國仁、保定人、本寺教徒ハ前記東清眞寺教徒數内ニ含まル

以上教長共三名、教徒數四千七百八名

(二) 勢力狀況

保定道區内ニ於テハ清宛縣カ回教徒最モ多シ

(三) 政治ト回教徒トノ關係

事變後北京ノ中國回教聯合會、北京ニ青年訓練所ヲ設立シテ回教青年ヲ訓練セリ、清宛縣回教徒ニシテ受訓セン者百二十名有リ、彼等ノ中約百名ハ該訓練所ヨリ職業ヲ紹介サレ、其他ノ者ハ皆ナ清宛縣ヘ歸リモトノ職業ニ就ケリ、從テ本縣一般ノ回教徒ハ思想良好ナリ

(四) 回教徒ノ工作狀況

回教分會カ組織サレタルモ未タ何等工作ヲ爲サス

(五) 信仰生活狀況

教徒ハ不食豚肉、禁酒煙等ノ教規ヲ嚴格ニ守リ、毎朝夕禮拜ヲ爲ス、而テ幼小者ハ回教文字ヲ學習ス

(六) 本地回民ト他地回民トノ差異 無

(七) 回民ト一般ノ漢民族トノ差異點

漢族ト數千年ノ間同居セシ歴史ヲ有スル中國回教徒ハ豚肉及ビ死魚蝦肉ヲ食セス禁酒禁煙ヲ守ル等ノ教規ヲ嚴守スル外ハ一般漢民ト異ラス

第三、佛 教

(一) 寺廟數、僧尼數

1. 大慈閣、保定城內東大街、住持、祥光外僧徒一名
2. 紅關帝、廟保定城內新民南街、住持寂順外僧徒一名
3. 西大寺、保定楊家胡同、住持和寬外僧徒一名
4. 伏魔菴、保定双井胡同、住持頓敬一名

5. 箭道關帝廟、城內箭道街、住持寬慈外僧徒一名
 6. 西關帝廟、西河坑、住持者同義外僧徒一名
 7. 樓南關帝廟、穿行樓南、住持璽然外僧徒一名
 8. 太公廟、窩々頭坑、住持印齋外僧徒一名
 9. 教神廟、教神廟胡同、住持義永外僧徒一名
- 以上僧廟九ヶ所、僧侶數十七名

(二) 勢力狀況

城內ノ各佛教廟寺ニハ皆ナ少數ノ僧侶有ルモ、鄉村ニ於テハ民國十七年國民黨カ寺廟及ヒ神像ヲ破壞シテ後、廟舍ハ區公所或ハ小學校ニ使用サレ一人ノ僧侶モ無シノ

(三) 政治ト佛教トノ關係

關係無シ

(四) 僧尼信仰生活

毎日誦經拜佛ヲ爲スモ、深キ信仰心有ルニ非ス

- (五) 佛教工作狀況 工作無シ
- (六) 本縣佛教ノ特徴 無
- (七) 其他 無
- 第四、道 教
- (一) 廟觀數、道士數
 洞陽宮、貴顯胡同、住持苑之端一名、道士十二名
 三皇者、三皇廟所、住持崔宗和一名、道士八名
 以上廟觀二所、道士二十二名
- (二) 勢力狀況 勢力無シ
- (三) 政治ト道教トノ關係
 道士ハ門ヲ閉チテ修練シ政治ヲ問ハス思想良好ナリ
- (四) 道士ノ工作狀況 工作無シ
- (五) 道士信仰生活狀況

道士ハ和尚ヨリ信仰心強シ、外人トノ往來連絡少ク自食ノ爲メ畑ニ出テテ農業ヲ爲ス時以外ハ概ネ修養靜坐ヲ爲ス

(六) 本縣道敎ノ特徴

無

(七) 其他

無

第三節 青 幫

青幫ハ又名ヲ安清ト呼ビ、俗ニ在家裡ト稱スル秘密結社トス、從テ調査スル事ハ甚タ困難ナリ、事變前ハ人數多カリシモ事變後ニ於テハ内河航運公會ニ加入セシ者及ヒ隠レテ出テサル者有リテ勢力衰ヘタリ、幫員ノ思想ハ良好ニシテ皆ナ正當ナル職業ニ就ケリ

左ニ幫員ノ概數ヲ記スヘシ

(一) 主幹 人數八名、最大者二十二代通字班

(二) 信徒數約五百九十名

第二章 石門市

第一節 社會團體、政治團體、思想團體及ヒ其ノ他ノ文化團體

第一、概況

石門市ハ華北ニ於ケル交通ノ要地ニシテ商業亦盛ンナリ、從前ハ獲鹿縣内ノ一鎮ナリシモ、民國二十九年三月市制カ布カレタリ、本市ニハ回教聯合會分會一ヶ所、紅卍字會一ヶ所、内河航運公會石門分會一ヶ所、更生會一ヶ所、華北佛教自衛團一ヶ所、冀南農民佛教自衛團一ヶ所、紅卍字會石門分會一ヶ所、萬國道德會分會一ヶ所、華北和平協會所ノ九團體有リ、

華北佛教自衛團ハ日本憲兵隊ノ指導ニ依リ組織サレ、總會ハ石門市ニ在リ、各地ニ分會十二ヶ所ヲ有シ五千餘名ノ會員ヲ有ス、冀南農民自衛團ハ二萬餘名ノ團員ヲ有ス兩團體共ニ其ノ團員ハ刀槍ヲ以テ

武器ト爲シ郷里ヲ保護ス、而テ本二團體ノ團員ハ灤城縣、元氏縣、
灤鹿縣、藁城縣、井陘縣ニ分佈ス、而テ匪區外ノ男ハ皆之ニ加入シ
夜間輪番ニテ村ヲ護ル又毎日燒香拜佛シ孝悌忠信禮義廉恥ヲ以テ信
條ト爲ス、

二十八年十一月日本憲兵隊ハ石門市ノ商民六百餘名ヲ逮捕シ其他ノ
商民ハ恐レテ多數京津ヘ逃避シ、爲メニ市内ノ景氣動搖セリ、依テ
憲兵隊長及ヒ商務會長ハ協議シテ更生會ヲ組織セリ、本會ハ憲兵隊
ノ工作ニ協力シ、良民ヲ保護シ以テ東亞ノ新秩序ヲ建設センコトヲ
以テ宗旨ト爲ス、而テ本市ノ商民ハ皆ナ自由ニ更生會ニ加入シテ其
ノ生活ノ安定ヲ保障スルヲ得、毎月一回開會ス、正會長一人、副會
長二人、顧問二名有リ、現在會員ハ一萬八千八百八十八名有リ、
華北和平協會ハ軍司令部報道部指導ノ下ニ組織サレタルモノニシテ
新中央政權ニ關スル宣傳工作ヲ爲ス、石門市ニ於テハ飯沼中將及ヒ

松田大佐カ指導サル、内部組織ハ局外人ハ調査不能ナリ、凡ソ華北各省會及ヒ大都市ニハ皆ナ和平協會カ設立サレ有リ、一切ノ企畫ハ北京軍司令部ニ於テ爲サル、本會ノ工作ハ新政權成立ト共ニ終結スルモノト聽ク

第二、各團體狀況

一、更生會

(一) 概況

1. 所在地 石門市商務内
 2. 主腦者 劉序臣、平山縣人、現年五十歲、中學卒業
 3. 設立目的 日本憲兵隊ノ工作ニ協力シ良民ヲ保護シ以テ東亞新秩序ヲ建設スル爲メ
- 創立 民國二十八年十二月

(二) 機構

會長一人、副會長一人、幹事十二名、顧問二名有り

(三) 會員

全部男性ニシテ一萬八千八百八十八名

(四) 財産及ヒ經費

基金一千圓有り、毎月經費ハ五百圓ニシテ、會員ノ會費ヲ以テ之ニ當ツ

(五) 工作狀況

憲兵隊ト聯絡シテ反共防敵ヲ爲シ若シ不良ナ份子ヲ發見セハ關係方面ニ聯絡ス

(六) 事變影響 無

二、冀南農民佛教自衛團

(一) 概況

所在地 石門市大談村

2. 主腦者 各鈞、石門人、三十歳、私塾出身

3. 設立目的 自己ノ村ノ治安ヲ守ル爲メ

4. 創立及ヒ沿革

二十七年六月憲兵隊ノ指導ニ依リ組織サレ、今マテ二年餘ヲ
經過セリ、本會ハ成績宜シク爲メニ石門市ハ治安良好ナリ。

(二) 機構 團長一人、副團長十四人

(三) 會員 二萬名

(四) 財産及ヒ經費 無

(五) 工作狀況

毎晩輪番ニテ步哨ニ立チ若シ匪ニ遇ヘハ自衛ヲ爲ス、又毎日燒

香拜佛ヲ爲ス

(六) 事變影響 無

三 華北農民佛教自衛團

(一) 概況

1. 所在地 石門市振頭鎮

2. 主腦者 溫光萬、石門市人、四十四歲、農民出身

3. 設立目的 村民自ラ自己ノ村ヲ護ル爲メ

4. 創 立 民國二十七年六月日本憲兵隊ノ指導ノ下ニ成立セリ

(二) 機 構 團長一人、分團長十二人

(三) 會 員 五千餘人

(四) 財產及ヒ經費 無

(五) 工作狀況

每晚輪番ニテ步哨ニ立チ匪ニ遇ヘハ自衛ヲ爲ス此ノ外團員ハ每

日燒香拜佛ヲ爲ス

(六) 事變影響 無

四 萬國道德會石門分會

(一) 概況

1. 所在地 阜寧街三十一號
 2. 主腦者 何軼塵、五十九歲、正定人、商人
 3. 設立目的 社會ノ改善人民ノ福利ヲ圖ルヲ以テ目的ト爲ス
- 其創立年月 二十八年三月三日

(二) 機構

會長一人、理事十人、監事五人

(三) 會員

一百五十名、中男一百十七名、女三十三名

(四) 財產及ヒ經費

不動產家屋二十間五千三百元、動產基金四百元
 經費每年二百二十五元、會員ノ會費ヲ以テ之ニ當ツ

(五) 工作狀況

學員傳習班ハ五倫八德ヲ講習シ、兒童班ハ六德ヲ養成シ、婦女識字班ハ賢妻良母ヲ養成ス

(六) 事變影響 無

五 世界紅十字會石門分會

(一) 概況

1. 所在地 新華街萬字胡同一號

2. 主腦者 葛鑑堂、五十二歲、河北獲鹿人、商人出身

3. 設立目的 世界ノ和平ヲ促進シ災患ヲ救済スルヲ以テ目的トス

4. 創立 民國十二年三月三十一日

(二) 機構

會長一人、副會長二人、會監二人有リ其ノ下ニ總務、儲計、防

災、救濟、慈善、交際ノ六股ヲ設ク

(三) 會員 男四十五名、女五名合計五十名

(四) 財産及ヒ經費

不動産、會址一所、價格二萬圓

動産 無

經費ハ毎月約二百元、會員ノ會費及ヒ寄附金ヲ以テ之ニ當ツ、

(五) 工作狀況

工作ハ全テ總會ノ命令ニ依リテ實施ス、其ノ外會員ハ隨意ニ本會ニ至リテ誦經祈禱ヲ爲ス

(六) 事變影響 無

六 内河航運公會石門分會

(一) 概況

所在地 同和胡同四號

2. 主腦者 梁潤珍、男、四十七歳、石門人、河北法政大學卒業
 3. 設立目的

内河運輸業者ノ團結ヲ圖リテ航運ノ障害ヲ除キ以テ新中國ノ
 經濟的復興ヲ期スルコト

4. 創立年月 二十七年三月一日

(二) 機構

會長一人有り其ノ下ニ會務、業務ノ二股ヲ置キ各股ニ股長一人
 ヲ設ク

(三) 會員 一千一百名

(四) 財産及ヒ經費 財産無シ

經費ハ毎月總會ヨリ六百二十元ヲ支給サル、

(五) 工作狀況 水路ノ保護ヲ爲ス

(六) 事變影響 無

七回教聯合會石門分會

(一) 概況

1. 所在地 新興路新成里五號

2. 主腦者 劉鳳岐、男、四十歲、保定人、商人出身

3. 設立目的 中國ノ教徒ヲ打ツテ一丸ト爲シ反共ノ線ニ邁進ス

ル爲メ

4. 創立年月 民國二十八年二月

(二) 機構 委員長一人、委員四人

(三) 會員 一千四百四十八名

(四) 財產及ヒ經費 無

(五) 工作狀況 無

(六) 事變影響 無

第二節 宗教

第一、概説

石門市ハ新興都市ナルヲ以テ諸宗教ノ寺廟少シ、唯佛教寺廟二所及ヒ回教、清真寺一ヶ所有ルノミ

第二、回教

(一) 教長數、寺院數、教徒數

清真寺、新興路新成里五號、教長一人、教徒男性九百十八名、女性五百三十名合計一千四百四十八名

(二) 勢力狀況 勢力無シ

(三) 政治ト回教トノ關係

回民ハ回教分會ヲ組織シテ反共運動ニ參加セリ

(四) 回教徒ノ工作狀況

回教分會ヲ組織セルモ何等工作ヲ爲シ居ラス

(五) 信仰生活状況

毎日曜日ニ清真寺ニ至リ禮拜ヲ爲シ、毎年一回ノ「齋月」有リ、

(六) 本地回民ト他地回民トノ差異 無

(七) 回民ト一般漢民トノ差異點

豚肉ヲ食セス禁酒禁煙スル等教律ヲ守ル外一般漢民ト異ラス、

第三、佛 教

(一) 寺庙數、僧尼數

ノ彌陀寺、休門鎮、住持心良、徒四名

2. 閩王廟、七望灣、無住持

(二) 勢力状況

石門市ハ文化都市ニ非ス商工都市ナルヲ以テ佛教ハ勢力ヲ有セス

(三) 政治ト佛教關係

關係無シ

(四) 佛教工作状況

工作無シ

(四) 小工 宿 基 氏

工 前 進

万 部

(五) 僧尼信仰生活

禪式ニ於テ誦經スル外、毎朝夕焼香誦經又爲ス
(六) 本縣佛敎ノ特徴 無シ

第三章 獲鹿縣

第一節、社會團體、政治團體、思想團體及ヒ其ノ他文化團體

第一、概 說

獲鹿縣ニハ道德會分會カ民國二十一年創立サレシモ事變後物價昂騰ノ爲メ會員ノ生活困難トナリ爲メニ二十八年十二月停止セリ、又紅十字會獲鹿縣分會一ヶ所アリ、經費困難ノ爲メ何等工作ヲ爲シ得ス有名無實ノ有様ナリ

第二、各團體狀況

一、紅十字會獲鹿縣分會

(一) 概 況

1. 所在地 縣城内澤溝街

2. 主腦者 葛鑑堂、五十二歳、獲鹿人、商人

3. 設立目的 貧困者ヲ救済シ一般民衆ノ福利ヲ圖ル爲メ
 4. 創立年月 民國二十三年三月

(一) 機構 會長一人有リ其ノ下ニ總務、慈業ノ二股ヲ設ク

(二) 會員 男性六人

(三) 財産及ヒ經費

財産無

經費毎月二十元、會員ノ會費ニ依ル

(四) 工作狀況

事變前會員約百人有リ、毎年施衣、施米等ヲ爲セシモ事變後ニ
 ハ六人ニ減シ爲メニ工作ハ停止セリ

(五) 事變影響

事變前ハ約百人ノ會員有リシモ事變時ニ他處ニ逃難シテ歸來セ
 サル者有リ、或ハ經濟的困難ノ爲メニ退會セシ者有リテ、會員

ハ僅カニ六人ニ減セリ、依テ會費收入減シ何等工作ヲ爲シ得ス

第二節 宗 教

第一。概 説

獲鹿縣ハ前漢時代ハ軍事の要塞ナリキ、又鐵路未建設前ニ在リテハ山西へ至ル要路ナリキ、正太路完成シテヨリ急激ニ淋レタリ
 尼廟ハ他縣ヨリ發達セリ、同教徒ハ僅カニ五六十名アリ、多クハ小商人ニシテ、石門市清真寺ニ管轄サル、蓮花山ニ娘々廟アリ、明朝時代ニ正定縣人三黃姑カ此ノ地ニ於テ求道シテ成仙セリ、而テ後人此ノ地ニ娘々廟ヲ建設セリ

第二。同 教

(一) 寺院數、教長數、教徒數

寺院無ク依テ教長無シ、教徒五十餘人有リ

(二) 勢力状況 勢力無シ

(三) 政治ト回教徒トノ關係 關係無シ

(四) 回教徒工作状況 工作無シ

(五) 信仰生活状況

毎日曜日一部分ノ教徒ハ石門清真寺へ至リ禮拜シ、他ハ家庭ニ在
リテ禮拜ヲ爲ス

(六) 當地回民ト他地回民トノ差異

當地ニハ清真寺無ク回民ノ團結力弱シ

(七) 回民ト一般漢民トノ差異點

豚肉ヲ食セス禁酒禁煙ヲ爲ス、教律ヲ守ル外ハ一般漢民ト異ラス

第三、佛 教

(一) 寺廟數、僧尼數

1. 本願寺、城内後街、住持遠信、僧徒七名
 2. 西會館、西關、住持能和、僧徒二名
 3. 吉祥寺、岸下小壁、住持了道、僧徒二名
以上僧廟三ヶ所、僧侶十四名有リ
 4. 觀音菴、潭溝、住持覺壽、尼二名
 5. 觀音菴、住持仁望、尼三名
 6. 三佛殿、西門外、住持盛愛、尼五名
 7. 同佛菴、西門、住持長業、尼七名
 8. 綿々菴、西門、住持能喜、尼五名
 9. 觀音菴、小壁、住持悟本、尼六名
- 以上尼菴九ヶ所、尼僧三十名有リ

(二) 勢力狀況

勢力無シ

(三) 政治卜佛教卜ノ關係

無シ

(四) 佛教工作狀況

工作無シ

(五) 僧尼信仰生活狀況

終身僧尼タル者モ有ルモ、中途ニテ還俗シ結婚スル者モ有リ

(六) 本縣佛教特徵

本縣ニハ尼僧多ク、此レ他縣ト異ル點ナリ

(七) 其他 無

第四、道教

(一) 廟觀數、道士數

1. 東會館、東關外、住持牛太冬、道徒六名

2. 聖母廟、邵菅、住持張太寬、道徒二名

3. 王皇廟、山前封莊、住持王元琴、道徒二名

4. 城隍廟、住持梁太階、道徒八名

5. 什方院、西關、住持高成直、道徒十一名

- 6. 卯々廟、蓮花山、道士四名
 - 7. 大寺、北故邑
 - 8. 清泉寺
 - 9. 老君洞
- 以上道廟九ヶ所、道士三十八名
- (一) 勢力状況 勢力無シ
 - (二) 政治ト道教關係 關係無シ
 - (三) 道教工作状況 工作無シ
 - (四) 道士信仰生活状況 毎日誦經祈禱ヲ爲シテ修行ス
 - (五) 本縣道教特徴 無

1900

第一節 社會團體、政治團體、思想團體及ヒ其ノ其ノ文化團體

第一、概況

定縣ハ事變前平民教育促進會實驗區タリシ地ナルヲ以テ、人民ハ共產思想ヲ有スル者多シ、從テ事變後ハ敵側ノ組織セル團體多シ、即チ聞香隊、打狗隊、婦女會、農民會、農民自衛武裝隊、青年抗日先鋒隊等有リ、

聞香隊ハ人民ノ油肉食ヲ禁シ犯ス者ハ嚴罰シ、打狗隊ハ毎日各村ノ犬ヲ銃殺ス、此レハ夜間ノ行動カ犬ノ聲ニ依リ敵ニ察知セラルルヲ防ク爲メナリ、

新政府勢力圏内ニハ本項ニ該當スル團體無シ

第二節 宗 教

第一、概 況

定縣ノ人口ハ四十萬人ニシテ城内ハ、二萬餘人有リ、全人口ノ百分ノ八十八貧民ニシテ百分ノ二十八中産階級トス、事變前平民教育促進會ノ影響ヲ受ケ民衆ノ迷信カ薄マキ、民國十七年以前既ニ廟ヲ學校ニ改築スル運動起リテ實行サレタリ

事變前全縣内ニ僅カニ僧侶二十四名、道士十三名有リシカ事變後ハ治安ノ關係ニ依リ、他へ避難スル者及ヒ移住シ來ル者アリ道士十名僧人二十八名トナレリ

同教ハ定縣ニ在リテハ一千六百年ノ歴史ヲ有シ清真寺十一ヶ所回民一萬五百人有リ

第二、回 教

(一) 寺院數、教長數、教徒數

(二) 勢力狀勢

1. 城内清真寺・教長白朝臣一名、教徒五百人
 2. 大辛莊清真寺 教長一名
 3. 大札村清真寺 教長一名
 4. 唐家莊清真寺 教長一名
 5. 陳村營清真寺 教長一名
 6. 楊家橋清真寺 教長一名
 7. 梁家營清真寺 教長一名
 8. 東車寄清真寺 教長一名
 9. 槐得營清真寺 教長一名
 10. 吳定莊清真寺 教長一名
 11. 三十里戶清真寺 教長一名
- 以上清真寺十一ヶ所教長十名有り、教徒ハ一萬五百人トス

縣内二十餘村ニ分佈セリ

(三) 政治ト回教徒トノ關係

定縣 匪區内ノ回民ハ回民教導團ヲ組織セルモノ有リ、團員約三百名有リ、抗日行動ヲ取ル匪區回民ハ城内ノ回民ト何等連絡ナク城内回民ハ思想良好ナリ

(四) 回教徒工作狀況 工作無シ

(五) 信仰生活狀況

金曜日毎ニ禮拜誦經シ毎年「齋月」有リ晝ハ飲食セス

(六) 本地回民ト他地回民トノ差異 無

(七) 回民ト一般漢民トノ差異點

豚肉ヲ食セス禁酒禁煙スル等教規ヲ嚴守スル外一般漢民ト異ラス

第三、佛 教

(一) 庙數、僧尼數

- 1. 花塔寺、城内大同街、住持覺慶一名、僧人六名
 - 2. 報思寺、城北東漲村、住持桂林一名、僧人八名
 - 3. 龍泉寺、碼頭村、住持照林一名、僧人二名
 - 4. 甘露寺、明月店、住持忠順一名、僧人三名
 - 5. 興國寺、東沿里、住持廣全一名、僧人二名
 - 6. 報思寺、廢台村、住持方恒一名、僧人五名
 - 7. 寶興寺、西關、住持福揚一名、僧人二名
 - 8. 瘟神會、西門大街、住持僧人 無
 - 9. 西蒼廟、順天街、住持僧人 無
 - 10. 八蜡廟、北街、住持僧人 無
- 以上寺廟十ヶ所、住持十名僧人二十八名
- (二) 勢力狀況 勢力無シ
- (三) 政治卜佛教卜ノ關係

僧侶ノ思想良好ナリ

(四) 佛教工作狀況 工作無シ

(五) 僧尼信仰生活狀況

當地僧侶ハ信仰ノ爲メ入道セルニ非スシテ衣食ノ爲メ入道セルモノニシテ、信仰ノ度淺シ唯葬式ニ於テ經ヲ讀ミ、又朝夕誦經拜佛ヲ爲ス

(六) 本縣佛教ノ特徴 無

(七) 其他 無

第三、道 教

(一) 廟觀、道士數

1. 城隍廟、城內北街、住持高嘉修、道士四名

2. 華興觀、東建陽、住持忠志、道士一名

3. 朝祖廟、北齊村、住持齊永居、道士一名

4. 聖母廟、楊家莊、住持楊守心、道士二名
5. 狼虎山廟、東忽村、住持王守一、道士一名
6. 奶々廟、東沿里、住持王元慶一名、道士一名
7. 觀音堂、小北蘇泉、住持王元華一名、道士一名
8. 三關廟、北庄頭村、住持徐守山一名、道士一名
9. 聖母廟、只東村、住持楊守心、道士二名
- 以上道觀九ヶ所、道士十四名中、住持タル者九名
- (二) 勢力状況 勢力無シ
- (三) 政治ト道教トノ關係
道士ハ新政府ニ對シテ頗ル信賴ヲ寄セリ
- (四) 道教工作状況 工作無シ
- (五) 道士ノ信仰生活状況
毎日神仙ヲ拜シ燒香誦經シテ修行ス

(六) 本縣道教ノ特徴

無

第三節 青 幫

定縣青幫ハ事變前ニ在リテハ一千五百人アリシモ事變後僅カニ百餘人ニ減セリ、嘉海威通字班（青幫ノ派名）ノ勢力最モ大ニシテ、幫員ハ警察界ニ服務スル者多シ

第五章 良郷縣

第一節 社會團體、政治團體、思想團體及ヒ其他ノ文化團體

第一、概況

良郷縣ハ北京ヲ距ルコト七十五華里、縣小サク人口ハ稀少ナリ、人民ハ醇厚ノ風俗ヲ有スル故ニ良郷ト稱ス

事變前ニハ國體無カリキ、事變後北京正字慈善會分會一ヶ所及ヒ同教聯合會良郷分會一ヶ所成立セリ、後者ハ民國二十七年成立シ易縣ノ同教徒平德朋カ良郷縣ニ居留シ有リテ分會長ニ任命サル、良郷ノ教徒ハ貧困者多ク、爲メニ分會經費ヲ負擔スルコト困難ナリ、又平某ハ不健全ナル人格ヲ有シ、會ノ名義ヲ借リテ寄附金ヲ以テ私服ヲ肥シ以テ良郷ノ同教徒ハ此レヲ排斥セリ、依テ縣公署ハ民國二十八年十二月十九日本會ニ解散ヲ命セリ

第二、各團體狀況

一、北京正字慈善會 良鄉分會

(一) 概況

1. 所在地 飲馬井街

2. 主腦者 張煥、男、五十三歲、良鄉人、北京天津ニ於テ多年

商業ヲ經營ス

3. 設立目的 災患ヲ救濟シ民衆ノ福利ヲ圖ルコト

4. 創立 民國二十七年九月

(二) 機構

董事長一人、董事若干名、會長一名有リ其ノ下ニ總務組、慈業

組、交際組、儲藏組ヲ設ク

(三) 會員 三百七十三名 (全部男)

(四) 財產及ヒ經費

財產 諸器具價格三百圓

經費 一百三十圓、會員負擔シ不足ノ時ハ北京總會ヨリ補助

ス

(五) 工作狀況

二十八年七月水災救濟ニハ小麥五十石ヲ施シ其ノ經費ハ總會ヨリ發給セリ、二十八年又同水災ニ際シ各界聯合シテ收容所數十ヶ所ヲ設立セシカ正字慈善會ハ三ヶ所ヲ受持テリ、

二十八年冬ニハ粟八千九百九十四斤ヲ窮民ニ施セリ、其ノ經費二千二百九十三圓五角ハ總會ヨリ供給セリ

(六) 事變影響

無

第二節 宗教

第一、概況

良郷縣ハ回民甚タ少ク、其ノ勢振ハス、清真寺二ヶ所有ルモ長ク修理ヲ加ヘサル爲メ破爛倒壊セリ、佛敎ハ良郷ニ於テハ元魏時代ニ始マリ、隨唐朝ハ最モ盛ンニシテ明代寺廟ニ修理ヲ加ヘタリ、清朝以來漸次衰ヘ民國ニ至リ國民黨部ノ破壊ニ遭ヘリ、清末清初ニ寺廟ハ七十餘ヶ所アリシモ今ニ殘存スルハ僅カニ二十四ヶ所トス其他ノ廟ハ郷公所ニ使用サルルモノ多ク此等ニハ佛像ハ安置シ有ラス

第二、回教

(一) 寺院數、教長數、教徒數
 清真寺、縣城南街、教長金永福、教徒男三十名女四十名合計七十名

2 清真寺、寶店鎮、教長趙文亭、教徒一千四百三十名

(二) 勢力狀況

教民カ貧困ニシテ縣内ニ清真寺ハ連絡モ無ク勢力無シ

(三) 政治ト回教徒トノ關係

關係無シ

(四) 回教徒工作狀況

民國二十七年回教分會成立セシモ、會長ノ不正ノ爲メ縣ハ二十八年十二月之ヲ解散セシム

(五) 信仰生活狀況

回民ハ教規ヲ守リ毎日曜日禮拜ヲ爲シ其ノ宗教ヲ信セス

(六) 本地回民ト他地回民トノ差異

無

(七) 回民ト一般漢民トノ差異點

豚肉食セス、煙草、酒ヲ禁スル等教規ヲ嚴守スル外ハ一般漢民ト異ラス

第三、佛 教

(一) 寺廟數、僧尼數

- 1. 東關岳廟、東斜街、住持法純、僧徒一人
- 2. 西關岳廟、南大街、鄉公所保管
- 3. 青月菴、前閭村、鄉公所保管
- 4. 關帝廟、西南呂村、鄉公所保管
- 5. 吉祥寺、安家莊、住持劉榮一人
- 6. 白衣菴、莊頭村、住持任貴
- 7. 關帝廟、紙房村、鄉公所保管
- 8. 興禪寺、張謝村、鄉公所保管
- 9. 廣嗣菴、魯村、住持体純、僧徒一人
- 10. 三教菴、長陽村、鄉公所保管
- 11. 天仙菴、長陽村、鄉公所保管

- 12. 關帝廟、長陽村、僧一人
 - 13. 千佛菴、富家莊、鄉公所保管
 - 14. 娘々廟、大紫草塢、鄉公所保管
 - 15. 關帝廟、琉璃河、住持正果、僧徒一人
 - 16. 弘恩寺、寶店鎮、住持茂林、僧徒一人
 - 17. 清涼寺、寶店鎮、住持秀岩、僧徒一人
 - 18. 關帝廟、寶店鎮、住持本和、僧徒一人
 - 19. 廣嗣菴、交道鎮、住持鄉公所保管
 - 20. 藥王廟、石村、鄉公所保管
- 以上寺廟二十所、僧十五人

(二) 勢力狀況

本縣ニハ尼僧無ク、僧侶モ尠ク、寺廟ハ破損シテ勢力無シ

(三) 政治卜佛教卜ノ關係

關係無シ

(四) 佛教工作狀況 工作無シ

(五) 僧侶ノ信仰生活狀況

僧侶ハ唯表面上敬規ヲ守リ誦經ヲ爲スノミニシテ、事實ハ衣食ノ爲メニ僧職ニ就ケルモノナリ

(六) 本縣佛教ノ特徴 無

第三、道 教

(一) 廟觀數、道士數

1. 城隍廟、城西門口、郷公所保管

2. 天王寺、縣城内黄土坑、郷公所保管

3. 岫雲觀、琉璃河、住持張士和、道士五名

4. 三官廟、道士二名

以上道敎廟觀四ヶ所、道士八名

(二) 勢力狀況

道教廟觀寥々タリ故ニ勢力無シ

(三) 政治ト道教トノ關係

二十八年三月十日新民會ハ城隍廟會ヲ開催シ其ノ時戲劇ヲ開演セリ、斯クシテ道教ノ興隆ヲ畫セリ

(四) 道教工作狀況 工作無シ

(五) 道士信仰生活狀況

道士ノ多クハ信仰修行ノ爲メニ入道セルニ非スシテ衣食ノ爲メ入道セルモノトス、毎日誦經、祈禱ヲ爲ス

(六) 本縣道教ノ特徴 無

第六章 宛平縣

第一節 社會團體、政治團體、思想團體及ヒ其他ノ文化團體

第一、概況

宛平縣ハ北京ニ近ク一般ノ團體ハ北京ニ集中スル故ニ宛平ニハ團體少シ、事變前紅十字會宛平分會有リ會址ヲ天仙宮廟内ニ置ケリ、本會ハ民國十九年四月商人孫旭東ニ依リ組織サル、事變後孫旭東ハ宛平縣ヲ去リ、爲メニ會務ハ停止セリ

同教聯合會宛平縣分會一所アリ一般ノ分會ト同シク有名無實ノ有様ナリ

榆垓鎮ノ關某ハ民國二十六年八月門ニ佛教會ノ額ヲ掲ケタリ、此レ事變ニ際シ佛教會ノ名義ヲ借り人民ノ財産ヲ保護セシ爲メニ組織サレタルモノニシテ、純粹ノ信仰團體ニ非ス又本會ニハ會長ノ制無シ

第二、各團體狀況

一、紅十字會宛平分會

(一) 概況

1. 所在地 長辛店大街

2. 主腦者 孫旭東、男、四十五歲、豐台人、商人

3. 設立目的 貧窮民ノ救濟

4. 創立及沿革 民國十九年ニ豐台ニ成立セシモ北京ニ近キ爲メ會

ハ發展セサリキ、依ツテ經費困難ノ爲メ長辛店天仙宮廟ニ移
レリ

(二) 機構

會長副會長各一名其ノ下ニ會計、庶務、慈業ノ三課ヲ設ク

(三) 會員

、民國二十四年ニハ會員百餘名アリシモ事變後ハ僅カニ十餘名ニ

減セリ

(四) 財産及經費

財産及ヒ經費共ニ無シ

(五) 工作狀況

従前施醫藥所一所アリシ、モ民國二十四年ニ至リ停止セリ

(六) 事變ノ影響

豊台ニ諸器具類アリシ、モ事變ニ際シ全部失ハレタリ

二、同教聯合會宛平分會

(一) 概況

1. 所在地 長辛店

2. 主腦者 王玉清、男、三十五歳、薊縣人、阿文大學卒業

3. 設立目的 中滿ノ教胞カ連絡シテ反共ヲ爲スタメ

4. 創立 民國二十七年八月北京總會ノ命ヲ受ケ成立セリ

(二) 機構

委員長一人、委員六人其ノ下ニ調査組、會計組、文書組ヲ設ク

(三) 會員

九百十一名、教徒ハ全テ會員トス

(四) 財産及ヒ經費

財産經費ハ無ク、若シ經費入用ノ際ハ清真寺ヨリ發給ス

(五) 工作狀況

何等工作ヲ爲サズ有名無實ノ有様ナリ

(六) 事變ノ影響

無

第二節 宗 教

第一、概 説

宛平縣ハ同教徒ハ少シ、此ノ地ハ交通便利ナル爲メ其ノ生活ハ安定シ教徒ノ三分ノ一カ貧民ナリ、然ルニ交通便利ノ爲社會進歩セルヲ以テ教規ニ違背スル者有リ、例ヘハ吸煙飲酒等ノ如シ、然ルニ教長ハ絶對權無キヲ以テ干涉ヲ強行スル能ハス、唯善言勸導スル有ルノミ

佛敎ハ京畿ニ近キヲ以テ發達セリ、歷來ノ名寺ハ皆ナ深山巖嶺ニ建テラレ、事變以來多クハ土匪盤踞セルヲ以テ毎度ノ廟祭ヲ開クコト能ハス、爲メニ寺廟ノ收入ハ影響ヲ受ケ日々ニ衰ヘタリ、道教亦然リ

第二、回 教

(一) 寺院數、教長數、教徒數

1. 清真寺、長辛店、教長萬國光、教徒男一百一十一名、女一百名合計二百一十一名

2. 清真寺、豐台、教長王玉清、教徒男二百四十九名、女二百一十四名合計四百六十三名

3. 清真寺、清河、教長錢永貴、教徒男二百六名、女一百八十四名合計三百九十名

4. 清真寺、榆垓鎮、教長張義祿、教徒六百名

以上寺院四ヶ所、教長四名、教徒合計一千六百六十四名

(二) 勢力状況

驛ノ労働者ニ教徒最モ多ク、小資本商人之ニ次キ富者ハ甚ク少シ

(三) 政治ト回教トノ關係

當地官廳ノ命令ニ服從シ思想ハ善シ

(四) 回教徒ノ工作状況

無

(五) 信徒生活状況

豚肉及ヒ煙草、酒ヲ嚴禁シ毎日禮拜ヲ怠ラス

(六) 本地回教民ト他地回民トノ差異

少數ノ教規違反者有ルコト

(七) 回民ト一般漢民トノ差異點

豚肉、酒、煙草ヲ嚴禁スル外ハ漢民族ト異ラス

第三、佛 教

(一) 寺廟數、僧尼數

1. 顯應寺、黃村、住持道如、僧徒十九名

2. 崇興菴魯谷、住持德宗、僧徒五名

3. 娘々廟、八寶山

4. 天空寺、石景山、住持寶珠、僧徒一名

5. 玉皇廟、長辛店、住持定修、僧徒無

- 6. 崇思寺、長辛店、住持德林、僧徒十一名
- 7. 皂君廟、榆堡鎮、住持仙靈
- 8. 娘々廟、榆堡鎮、住持心亮
- 9. 龍華寺、榆堡鎮、住持了然
- 10. 三義廟、榆堡鎮、住持瑞亮
- 11. 藥王廟、南各莊、住持通本
- 12. 永泰寺、朱家鳴、住持寶山
- 13. 三義廟、東陝河、鄉公所保管
- 14. 關帝廟、第五區、鄉公所保管
- 15. 戒台寺、秋坡村、住持敏悟、僧徒二十一名
- 16. 潭柘寺、太平莊、住持茂林、僧徒二十二名
- 17. 三義廟、天橋浮、住持朗塵、僧徒一名
- 18. 西峯寺、尚嶺、住持慈秀、僧徒一名

19. 奉福寺、栗元莊、住持明山、僧徒八名

20. 天仙廟、焦家嶺村、鄉公所保管

21. 圓通寺、看丹村、住持隆惠

以上廟二十一ヶ所、僧侶合計一百九名

(二) 勢力狀況

事變前ニ於テハ北京ノ人カ多數ニ宛平縣ニ來リ各太廟ニ參拜セシ
モ事變後ハ即チ參拜者減少セリ

(三) 佛教工作狀況

新シク廟宇ヲ建築シ或ハ修理ヲ爲シ又ハ寄附金ヲ募集スル等ハ僧
侶ノ功德ナルモ事變後ニ於テハ之等ノコトヲ行ハス

(四) 佛教ト政治トノ關係

無シ

(五) 僧尼ノ信仰生活狀況

毎日誦經拜佛シ太寺廟ノ教規ハ小寺ニ比シ甚々嚴格ナリ

(六) 本縣佛教ノ特徴 無シ

第四、道 教

(一) 廟觀數、道士數

- 1. 護國寺、下莊、住持劉蔭橋、道士二十一
 - 2. 天仙宮、長辛店、住持孟明慧、道士三人
 - 3. 娘々廟、龐各莊、住持張久恒、道士無シ
 - 4. 泰山門、太子務、鄉公所保管
 - 5. 大寺、求賢村、鄉公所保管
 - 6. 觀音堂、大新莊、住持鳳才、道士一名
 - 7. 玉皇廟、宅舍台村、住持道元甫、道士七名
- 以上廟數七所、道士數二十七名

(二) 勢力狀況

多クハ北京市道廟ノ分院ニシテ勢力無シ

- ③ 政治ト道教トノ關係
道士ハ清靜無爲政治ヲ問ハス思想良好ナリ
- ④ 道教工作狀況
無
- ⑤ 道士信仰生活狀況
「布衣素食」 「自耕自食」
- ⑥ 本縣道教特徵
無

第七章 涿縣

第一節 社會團體、政治團體、思想團體及ヒ其他文化團體

第一、概況

涿縣ハ黃帝ノ時代以來民國ニ至ルマテ時々戰場ト爲レリ、殊ニ民國十六年九月奉天系張作相カ涿縣ニ據レル山西系傅作義ヲ攻撃シ傳ハ約三ヶ月餘リノ間涿縣城ヲ苦守セリ、結果城壁ハ破壊サレ、人民ノ衣食ハ奪ハレテ大損害ヲ蒙レリ故ニ停戦後各地ノ人民ハ涿縣人民ノ困苦ニ同情シ、相繼イテ慈善團體ヲ組織セリ當時救濟院、留養局、同義會等成立シテ事變前マテ繼續サレシモノ本次學變ニ際シ停シテ復興サレス

現在ハ紅十字會一ヶ所、親民至善會一ヶ所、回教聯合會涿縣分會一ヶ所、北京正字慈善會涿縣分會一ヶ所有リ

紅十字會ハ事變ノ影響ヲ受ケ唯名ノミ有リテ工作無シ、正字慈善會ハ事變後新ニ創設サレタルモノトス、同教分會ハ經費ニ乏シキ爲メ何等工作ヲ受シ得ス親民至善會ハ當地農民ノ組織セルモノニシテ皇軍駐屯軍ノ連絡ヲ圖リ中日人民ノ感情ノ融和ヲ増進スルト共ニ一方ニ於テハ慈善救濟ヲ爲スヲ目的トシテ成立セルモノトス

第二、各団体狀況

一、紅十字會涿縣分會

(一) 概況

1. 所在地 西丁市口四號

2. 主腦者 孔化中、男、五十三歲、涿縣人、商業

3. 設立目的 災患救濟、和平促進

4. 設立年月及沿革

民國十四年成立シテ救濟事業ハ甚タ發達シ無料施藥、冬季施

粥、收容所等カ成立セリ、
十七年後ハ國民黨部ノ壓迫ヲ受ケテ衰へ又事變ニ際シ一切ノ
醫療器具ヲ失ヒ又經費缺乏ノ爲ニ、現在ハ何等工作ヲ爲ス能
力無シ

(二) 機 構

會長一人、副會長一人有リ其ノ下ニ總務、救濟、交際、文書四
部ヲ設ク

(三) 會 員

會員總數ハ三十六名、全テ男性

(四) 財 產 及 經 費

財産無シ

經費全年三百二十餘元、會員ノ負擔トス

(五) 工 作 狀 況

本年水災ニ際シ、二十八年七月各地ヨリ二百圓ノ寄附金ヲ得、
 施米ヲ爲シ收容所ヲ開ケリ、二十八年冬ニハ滿洲國ヨリ米八千
 斤ノ寄附有リテ冬賑ヲ爲セリ

(六) 事變影響

事變ニ因リ醫院内ノ全器具及會内諸家具ヲ破壊或ハ盜マレ、其
 損失約六千圓ニ達セリ、而テ會員ハ現在ノ物價騰貴ニ依ル生活
 困難ノ爲メ寄附金困難ナル状態ニ在リ

(七) 其他 無

三 正字慈善會涿縣分會

(一) 概況

1. 所在地 南大街

2. 主腦者 萬沛然、男、三十六歲、涿縣人、北京北方中學卒業

3. 設立目的 人民ノ福利ヲ圖リ災難ヲ救済スル爲メ

ハ創立年月日及沿革

事變後縣内ノ災禍甚タ大ナルヲ以テ涿縣内ノ會員ハ二十七年三月五日分會ヲ組織シテ難民ノ救濟ニ當ルコトトナレリ

(二) 機構

董事長、副董事長各一人有リ其ノ下ニ總務、儲藏、慈善ノ三組ヲ設ク

(三) 會員

男性一百二十五名、女性五十名合計一百七十五名

(四) 財産及經費

財産無シ

經費毎月二百元、會員ノ寄附金及ヒ總會ヨリノ支給金

(五) 工作狀況

二十七年春粟、玉蜀黍ヲ難民ニ施セリ、其ノ經費七百二十一元

ハ各地ヨリ寄附サレタルモノトス

平民小學一校ヲ附設シ學費免除シ又書籍ヲ供給ス生徒ハ一百二十名有リ、教員ハ全テ義務職無給トス、本校ノ經費ハ總會ヨリ毎月二百二十元ヲ支給サル

(六) 事變影響 無

三、涿縣親民至善會

(一) 概況

1. 所在地 城内鼓前大街

2. 主腦者 徐仲三、涿縣人、五十六歲、私塾修業十年、農業

3. 設立目的 皇軍トノ連絡ヲ圖リテ日支人間感情ノ融和ヲ増加シ併ヒテ慈善事業ヲ行フ

4. 創立 民國二十七年七月

(二) 機構

會長一人有リ其ノ下ニ總務、交際、文牘、庶務、會計ノ五股ヲ設ク

(三) 會員 全テ男性一百三十一名

(四) 財産及經費

財産動産基金一千圓

經費毎月百四十元、會員ノ會費ヨリ支出ス

(五) 工作狀況

従前醫院有リシモ人學問題ニ依リ停止セリ、小學校一ヶ所ヲ附設シ生徒カ一百四十人有リ本校毎月ノ經費ハ一百元ニシテ會ヨリ支給ス

水災ニ際シ收容所ヲ設立シ施米ヲ爲セリ其ノ經費ハ三百五十元ニシテ各方面ヨリ寄附サレタルモノトス

(六) 事變影響

無

四回教聯合會涿縣分會

(一) 概況

1. 所在地 灰市西頭

2. 主腦者 楊開明、男、五十四歲、江蘇人、現在涿縣縣長

3. 設立目的

中國教徒ノ團結ヲ固クシ、反共和平ニ邁進スル爲メ

4. 創立 民國二十七年四月二日

(二) 機構

會長一名有リ其ノ下ニ文書、調査、會計ノ三股ヲ設ク

(三) 會員

男四百十三名、女四百一名合計八百十四名

(四) 財産及ヒ經費 無

(五) 工作狀況

(六) 事變影響 無
阿文學校ヲ設立シ現在同民學生三十人ヲ教育セリ

第二節 宗 教

第一、概 況

涿縣ノ宗敎ハ明末清初頃最モ盛ンナリキ、民國以來廟產ヲ村公所或ハ學校ニ改メ、或ハ破壞セル者多シ清末ニハ僧侶五十名、道士四十名有リシモ其ノ數次第ニ減少セリ、東嶽廟ハ碧霞元君ヲ祭レルモノニシテ、事變前ハ毎年春秋二回ノ廟會ニハ參拜者甚タ多カリシモ事變後ハ衰ヘテ往日ノ如クナラス

回敎ハ清真寺二ヶ所所有リ、一ヶ所ハ城内ニ一ヶ所ハ匪區秧房ニ在リ秧房ハ縣城ヲ距ル二十五里ノ地ニ在リ、敎徒ハ苦力多シ

第二、同 教

(一) 寺院數、教長數、教徒數

1. 清真寺、縣城内營仿前街二十五號、教長錢子良一人、教民男四百十三名、女四百一名、合計八百十四名

2. 清真寺、秧房、教長白姓、教民百餘人、

以上清真寺二ヶ所、教長二名、教徒合計九百十四名

(二) 勢力狀況

同教徒ノ城内ニ居住スル者ハ生活比較的安定セルモ匪區ニ居住スルモノ生活困難ナリ、而テ兩地教徒ノ往來連絡無ク勢力無シ

(三) 政治ト同教徒トノ關係

縣公署勢力圈内ノ同民ハ縣ニ服從シ匪區内ノ同民ハ匪ノ指揮ニ服從ス

(四) 同教徒工作狀況

回教分會一有ルモ、何等工作ヲ爲サス

(五) 本地回民ト他地回民トノ差異

本地ノ回民ハ漢民ト結婚スル事有ルハ他地回民ト異ル

(六) 信仰生活狀況

豚肉、煙草、酒ヲ嚴忌シ毎週禮拜ヲ爲ス

(七) 回民ト一般^漢民族トノ差異

豚肉、煙草、酒ヲ嚴忌スル等教規ヲ嚴守スル以外ハ一般漢民ト異ラス

第三、佛 教

(一) 寺廟數、僧尼數

1. 保慶寺、南關、住持覺眞、僧徒六名

2. 普壽寺、城東三里、住持清志、僧徒二名

3. 興隆寺、馬坊村、住持善保、僧徒六名

4. 眞武廟、西田城村、住持玉山、僧徒三名
 5. 禪魚寺、塔趙村、住持靜林、僧徒一名
 6. 興善寺、任村、住持玉塵、僧徒二名
 7. 天仙寺、佟村、住持養安、僧徒一名
 8. 文殊寺、松林店、住持瀝同、僧徒四名
 9. 鎮安禪林、鎮安寺村、住持瑞祥、尼徒一名
 10. 關帝廟、涿縣馬頭鎮、保管人王樹芳
 11. 清雲寺、田城村、僧徒無シ
 12. 廣因寺、東茨村、僧徒無シ
 13. 萬佛寺、東韋屯村、僧徒無シ
- 以上寺廟十三ヶ所、尼二名、僧三十三名合計三十五名

(二) 勢力狀況

各寺廟附近各村ノ一般民衆ハ均シク佛教ヲ信仰セリ

(三) 政治ト佛教トノ關係

關係無シ

(四) 佛教工作狀況

工作無シ

(五) 僧尼ノ信仰生活狀況

終身精進料理ヲ食シ結婚セス佛門ノ清規ヲ遵守ス

(六) 本縣佛教ノ特徵

無

第三、道 教

(一) 廟觀數、道士數

1. 將軍廟、大辛街、住持王玉祥、道士四名

2. 東嶽廟、北關、住持張然惠、道士三名

3. 三義宮、樓桑廟村、住持劉萬成、道士三名

4. 恒候祠、忠義店村、住持盧孝亭、道士一名

以上道廟觀四ヶ所道士十六名

(二) 勢力狀況

一般民衆ハ深く道教ヲ信仰スルモ、事變後ハ各廟ノ参拜者減少セリ

(三) 政治ト道教トノ關係 關係無シ

(四) 道教工作狀況 工作無シ

(五) 道士信仰生活狀況

毎日香ヲ焚キ經ヲ讀ミテ修行ヲ爲ス

(六) 本縣道教ノ特徴 無

第八章 望都縣

第一節 社會團體、政治團體、思想團體及ヒ其他文化團體

本題目ニ該當スル者無シ

第二節 宗教

第一、概況

望都縣ニハ清ノ光緒年間以來古刹禪林數十處アリ、僧侶道士居住セリ、宣統以來政變有リ寺廟ハ漸次荒廢シテ學校或ハ役所ニ改築サル今ハ只寺廟七處存在スルノミニシテ僧侶道士無シ、本縣ハ土地瘠セ加フル事變ノ影響ヲ受ケ人民困窮セルヲ以テ寺廟ノ破壊セルモノニ

修理ヲ加フル能ハス

第二、回 教

凡ソ漢族ノ居住スル地帯ニハ必ス回教徒有リトノ謠有ルモ之レ虚言ナリ、本縣ニハ回教徒無シ、其ノ理由左ノ二有リ

一、望都縣ハ土地瘠セ一般漢民スラ貧シ況シテ回教徒ハ居住困難ナルコト

二、當地ハ人口多キヲ以テ土地及ヒ家屋ヲ回教徒ニ賣ル餘裕無キコト

第三、佛 教

縣内ノ寺廟ハ民國以來僧侶ハ漸次去リ別ニ生活ノ道ヲ求メタリ民國十七年以來國民黨迷信ヲ排シ偶像ヲ破壊シテヨリ本縣僧侶ハ其ノ跡ヲ絶テリ

(一) 寺院數

1. 壽聖寺、城内、村長王金貴保管
 2. 堯母廟、城内、現在日本軍隊居住、縣公署保管
 3. 城隍廟、南關外、村長王金貴保管
 4. 聖廟、城内、縣公署保管
 5. 堯帝廟、東關、村長左洛岐保管
 6. 藥王廟、葯村、村長趙廷真保管
 7. 關帝廟、竹葯村、縣公署保管
- 以上寺廟七ヶ所、僧侶無シ
- (二) 勢力狀況
- 只堯母廟ニ於テ毎年三月三日廟會ヲ開キ各村ノ人民參拜ス此ノ外廟會ヲ行フモノ無シ
- (三) 政治ト佛教トノ關係
- 關係無シ
- (四) 佛教ノ工作狀況
- 工作無シ

(五) 本縣佛教ノ特徴

各縣内寺廟ニハ多クハ僧侶有ルモ、望都縣寺廟ニハ僧侶無シ

第九章 定興縣

第一節 社會團體、政治團體、思想團體及ヒ其他ノ文化團體

第一、概況

定興縣人民ハ數百年前ヨリ十分之六ハ外ニテ働ク人民ノ組織スル團體ハ只北京正字慈善會定興分會及ヒ同教分會ノ二有リ、前者ハ慈善事業ノ一トシテ小學校一ヶ所ヲ經營ス、後者ハ同民困窮ノ爲メ、唯名ノミ有リテ何等工作ヲ爲シ居ラス

第二、各團體狀況

一、北京正字慈善會定興分會

(一) 概況

1. 所在地 城内小寺街

2. 主腦者 孫傳泉、男、三十六歲、定興人、商人

3. 設立目的 普ク民生ヲ利シ災難ヲ救済スル爲メ設立サル
 4. 創 立 民國二十七年八月

(二) 機 構

董事長一人、會長一人有リ其ノ下ニ總務組・儲藏組・慈業組・
 交際組ヲ設ク

(三) 會 員 男性四百五十名

(四) 財產及經費

財產動產五〇〇圓
 經費毎月四〇〇圓・會員ノ會費ヨリ支出シ不足ノ時ハ總會ヨリ
 補助ス

(五) 工作狀況

毎年六月及ヒ十二月ニ常年會員會ヲ開ク・二十七年十一月ヨリ
 二十八年三月マテ施粥ヲ爲セリ。

二十八年四月平民小學校ヲ附設シ會長カ校長ヲ任命ス、現在學生男性五十二名、女性二十四名、合計八十七名有り、毎月ノ經費ハ一二〇元ニシテ會ヨリ供給ス

(六) 學變影響 無

二、中國回教聯合會定興分會

(一) 概況

1. 所在地 清真寺内

2. 主腦者 馬永福、男、六十一歳、河間人、教長ヲ歴任ス

3. 設立目的 中國ノ回教徒カ團結シテ反共ニ勵進スル爲メ

4. 創立 民國二十八年六月

(二) 機構

會長一人、委員四人有リ其ノ下ニ庶務、文牘ノ二股ヲ設ク

(三) 會員 六百六十三名

(四) 財産及經費

無

(五) 工作狀況

何等工作ヲ爲サス

(六) 事變影響

無

第二節 宗 教

第一、概 況

定興縣ニハ寺廟ハ歷來發達セス縣志ニ依レハ二十二ヶ所ノ寺廟有ル
 モ然ルニ現在ノ調査ニ依レハ二十二ヶ所有ルノミ、全縣ノ僧侶二名、
 道士一名、尼僧無シ

同教徒ハ六百六十二名、清真寺一ヶ所有リ、同民ハ團結力強ク一般
 ノ教民ハ仁愛心ニ缺ク、又政治思想ハ無シ、教民ハ商業ヲ營ム者多
 ク勢力無シ

第二、回 教

(一) 寺院數、教長數、教徒數

ノ清真寺、定縣城內、教長馬永福、教徒男子三百三十二名、女子

三百三十一名、合計六百六十三名

以上清真寺一ヶ所、教長一名、教徒六百六十三名有リ

(二) 勢力狀況

回教民ノ多數ハ商業ヲ營ミ勢力無シ

(三) 政治ト回教徒ノ關係 關係無シ

(四) 回教徒ノ工作狀況 何等工作ヲ爲シ居ラス

(五) 信仰生活狀況

教規ヲ守リ信仰心強ク毎日曜日必ス清真寺ニ於テ禮拜ス

(六) 本地回民ト他地回民トノ差異 無

(七) 回教民ト一般漢民ノ差異點

豚肉ヲ食セス禁酒禁煙シ他ノ宗教ニ參加セス、同教民相互ノ團結力強キコト以外ハ殆ント漢民族ト異ラス

第三、佛 教

(一) 寺廟數、僧尼數

1. 永安寺、固城鎮、僧徒無シ
2. 金河寺、北河店、郷公所保管
3. 柏林寺、南連村、僧人明修、興修
4. 華廠寺、郷公所保管
5. 觀音寺、張里村
6. 寶泉寺、河内村、僧徒無シ
7. 東泉寺、東引村、僧徒無シ
8. 三關帝廟、后所昔、僧徒無シ
9. 觀音廟、石梁村、僧徒無シ

10. 修興寺、大溝村、僧徒無シ

11. 普濟寺、周家莊、郷公所保管

12. 東嶽廟、因家莊、僧徒無シ

以上寺廟十二ヶ所、僧侶二名有リ

(二) 勢力状況

元來縣ニハ寺廟甚タ少ク其ノ上民國十二年ニハ破壊ヲ蒙リ又今次
事變ノ影響ヲ受ケタルヲ以テ全ク勢力無シ

(三) 政治ト佛教トノ關係

關係無シ

(四) 佛教ノ工作状況

何等工作ヲ爲サス

(五) 僧尼ノ信仰生活状況

毎日拜佛、焼香、誦經ヲ爲シテ修行ス

(六) 本縣佛教ノ特徴

無

第四、道 教

(一) 廟觀數、道士數

ノ東林寺、城内東大街、道士張明祥一人

(二) 勢力狀況 勢力無シ

(三) 政治ト道教トノ關係 關係無シ

(四) 道教ノ工作狀況 何等工作ヲ爲シ居ラス

(五) 道士信仰ノ生活狀況

毎日神仙ヲ拜シ祈禱、誦經、燒香ヲ爲ス

(六) 本縣道教ノ特徴 無

第十章 井 陘 縣

第一節 社會團體、政治團體及ヒ其他文化團體

井陘縣ノ土地ハ九十%ヲ山トス、從ツテ民生ハ自然苦況ヲ呈セリ、群山環抱シ旱害相繼ク爲メ人民ノ生計苦シク爲メニ教育ハ不振ニシテ人材少シ、女ノ子ヲ溺死セシムル風アリ、此レモ親ノ無慈悲ニ非ス生活ニ迫ラレ止ムヲ得サル爲メナリ、

團體ハ事變前ニ紅十字會分會一ヶ所アリシモ、事變當時砲火ノ爲メニ破壊サレ未タ復興セス、井陘礦務局ニ鑛夫俱樂部アリ、仕事ノ終リテ後ノ娛樂場トス民國十一年四月創立サレタルモノニシテ此レヲ利用スル鑛夫三千人有リ、本俱樂部ハ基金二千圓アリ、而テ俱樂部内ニ國劇研究、玉突、圖書室、風呂、理髮、礦産陳列室等ノ諸設備アリ、職員ハ八十名有リ

第二節 宗 教

第一、概 況

隨煬帝ノ時代ニ妙陽公主カ山巖ノ地ヲ選ヒテ福廣寺ヲ建立セリ、ソノ後宋元ニ至リ各山ハ殆ント全部僧侶ニ依ツテ占領サレタルノミナラス各村皆寺廟有リ各寺廟ニハ神龕アリ、因果輪廻符咒圖讖ノ説カ深ク人心ニ入り、佛道二教ハ全縣ニ擴カレリ、然ルニ學識高深ノ僧ハ極メテ少シ

清ノ同治年間白蓮教ノ黃志和、李秀禎カ鑾鵬山ニ據リ聲勢頗ル盛シナリシモ後ニ討伐サレテ其ノ勢力ハ現存セス

民國十七年 國民黨カ廟ヤ偶像ヲ^{破壞}セシ際城内ノ城隍廟ヲ破壞シ今ハ全ク其ノ跡ヲ止メス、事變以後ハ山地ハ治安惡ク、山内寺廟ニハ僧侶ノ身ヲ置クハ危険ナルヲ以テ多クハ他へ避難セリ

井陘縣ハ物産ニ乏シク商業カ發達セサルヲ以テ同教民無シ民國十七

年第五區北良都村ニ回教民男女各一名寄居シ居リシモ約一年ノ後他
去~~去~~、道士ハ事變前ハ有リシモ道廟ハ現在匪區内ニ在ル爲メ
現況不明ナリ

第二、佛 教

(一) 寺廟數、僧尼數

- 1. 關帝廟、城東門、住持覺旺、僧徒二名
- 2. 陘山寺、北關外、住持普守、僧徒一名
- 3. 護國寺、洪河漕小寺、住持廣玉、僧徒二人
- 4. 甘泉寺、西焦村、僧無シ
- 5. 內佛寺、東治村、僧無シ
- 6. 福寺、胡家灘、僧無シ
- 7. 聖禪寺、北峪村、僧一人
- 8. 金華寺、盧莊村、住持坤、僧徒二名

(二) 勢力狀況

9. 羅鉢寺、趙莊嶺、僧無シ
10. 誌公岩、高家峪、僧無シ
11. 福盛寺、東焦村、僧無シ
12. 龍窩寺、龍窩村、住持本利、僧徒二名
13. 牟尼寺、南峪村、鄉公所保管
14. 龍門寺、威河西、住持演鈴、僧徒二名
15. 興龍寺、方嶺村、僧無シ
16. 邨形廟、北關外、住持覺旺、僧徒三名
17. 靈巖寺、柏山岩、住持威坤、僧徒三名
18. 寒山寺、白天莊、住持覺福、僧徒二名
19. 觀音廟、河西、鄉公所保管

民國十七年國民黨カ廟及ヒ偶像ヲ破壞シ今次事變以來匪賊出沒シ

テ、寺廟有ルモ僧無ク、僧有ルモ寺廟或ハ偶像ノ破壊セルモノ
 甚ダ多ク、其ノ勢力全ク衰ヘタリト言フヘシ

(三) 政治ト佛教トノ關係

關係無シ

(四) 佛教工作狀況

事變前ニハ廟會ヲ舉行セシモ事變後ハ皆停止セリ

(五) 僧尼信仰生活狀況

毎日燒香、拜佛、誦經ヲ爲ス

(六) 本縣佛教ノ特徵

無

第十一章 易 縣

第一節 社會團體、政治團體、思想團體及ヒ其ノ他ノ文化團體

第一、概 況

易縣、縣誌ニヨルニコノ地ハ慷慨悲歌ノ士多ク、人民ハ道德觀念強ク、井市ノ流民ト雖皆禮義ヲ尊フ、土着人民ノ性格ハ正直ニシテ異教或ハ諸團體ノ入ルヲ受ケ入レズ、好ク支那ノ古風ヲ守ツテ各々其人ヲ獎勵ス。

本縣内ニ回教分會一ヶ所アリ其ノ會員ハ約一千六百四名有リ、現在何等工作ヲ爲シ居ラス。

第二各團體狀況

一、回教聯合會易縣分會

(一) 概 況

1. 所在地 清真寺街

2. 主腦者 馬思溥、男、四十一歲、易縣人天津阿文大學卒業

3. 設立目的 中日滿緊密ニ提携シ絶對ニ共產主義ニ反對シテ新政府ヲ擁護シ新政權ヲ發展セシメ、而テ亞洲固有文化ヲ發揚セントス

4. 創 立 民國二十八年三月三日

(二) 機 構

委員長一人有リテ會務ヲ總理シ、外ニ委員四人有リ、其ノ下ニ文牘、會計、調査三股ヲ設ク

(三) 會 員 一千六百二十四名

(四) 財產及ヒ經費
財產無シ

經費毎年、四百圓皆教民ノ負擔トス

(五) 工作狀況

伊斯蘭小學ヲ經營シ、學生四十名有リ、年經費一百圓、アラビ
 語及ヒ回教教義ヲ教フ

教民ノ貧困者ノ婚喪ヲ扶助シ遠方ヨリ來レル貧困教民ヲ撫卹ス

(六) 事變影響 無

第二節 宗 教

第一、概 況

易縣ニハ清朝ノ五陵有リ、此ノ外佛教寺廟二十四、道教廟觀十九アリ、此等ノ多クハ山上ニ在リテ、事變後ハ大部分匪區内ニ在リ、
 縣城ノ北方二十五里ノ處ニ后土山アリ、此レヨリ十里ノ處ニ后土娘

々廟一ヶ所アリテ道士十二名居住ス、毎年三月一日ヨリ三月廿日マ
 テ開廟ス、此處ニハ佛閣百餘間アリ、事變前開廟ノ時ハ河南省及ヒ
 河北省各縣ノ人民カ多數參拜セリ、清室時代ハ此處ニ后土黃帝トテ
 併セテ祭リシ爲メ毎年參拜者數ハ數十萬ニ達セリ、事變後ハ匪人盤
 踞シテ出沒常無キヲ以テ敢テ參拜スル者無シ
 同教モ可成リノ勢力ヲ有ス（教民約一千六百名アリ）城内ニ清真寺有リ、建
 築美麗ニシテ設備モ完備ス此ノ外諸鄉村ニハ小規模ノ禮拜堂有リ教
 民ノ禮拜ニ便ナリ

第二、同 教

(一) 寺院數、教長數、教徒數

1. 清真寺、城内清真寺街、教長馬恩溥（教長缺由馬恩溥代理）教
 徒一百六十二四名

2. 清真寺、塘湖鎮

3. 清真寺、馬永莊

4. 清真寺、水野村

5. 清真寺、大鉅村

6. 清真寺、百泉村

以上清真寺六ヶ所、教長一人、教徒千六百二十四名有り、

(二) 勢力状況 特記スヘキモノ無シ

(三) 政治ト回教トノ關係

事變時ニ川岸師團長易縣城ニ入リシ時清真寺ヲ借リテ維持會議ヲ
開催サレ、又板垣閣下ハ會テ清真寺ヲ借リテ慰靈祭ヲ執行サレタリ

(四) 回教徒工作状況

回教分會一有り、團體ノ項參照

(五) 信仰生活状況

毎日曜日禮拜ヲ爲ス

(六) 本地回民ト他地回教トノ差異 無

(七) 回民ト一般漢民トノ差異點

豚肉ヲ食ハス禁酒禁煙スル以外ハ漢民族ト異ラス

第三、佛 教

(一) 寺廟數、僧尼數

1. 城隍廟、城内、住持無シ

2. 普鑿菴、城南固村、住持占一、僧徒四名

3. 關帝廟、北半城、住持老方、僧徒無シ

4. 興隆寺、固村、僧人無シ

5. 開元寺、后土山、僧人無シ

以上寺廟五ヶ所僧侶五名有リ

(二) 勢力狀況 勢力無シ

(三) 政治ト佛敎トノ關係 無

(四) 佛教工作狀況 無

(五) 僧尼信仰生活狀況

毎日誦經拜佛ヲ爲ス

(六) 本縣佛教ノ特徵 無

第四、道 教

(一) 道廟數、道士數

1. 娘々廟、后土山、道士十二名

2. 城隍廟、北半城、保管人魏朗山

3. 火神廟、南城上、道士袁信孝一名

4. 武廟、城内、道士王太和一名

以上道廟四ヶ所、道士十四名有リ

(二) 勢力狀況

事變前ニハ毎年ノ廟會ハ甚タ盛ンニシテ、人民ノ信仰ヲ集メシモ

事變後ハ治安悪キ爲メ廟會ハ停止セリ

(三) 政治ト道教トノ關係 關係無シ

(四) 道教工作狀況 無

(五) 道士信仰生活狀況

道士ハ毎日神仙ヲ拜シ經ヲ讀ミ香ヲ焚キ祈禱ヲ爲ス

(六) 本縣道教ノ特徴 無

第十二章 涿水縣

第一節 社會團體、政治團體、思想團體及ヒ其ノ他ノ文化團體

涿水縣ハ治安悪ク何等團體無シ

第二節 宗 教

第一、概 況

同教清真寺一ヶ所アリ、回民ハ六百八名有リ、中知識分子ハ一百十七人ニシテ其ノ他ハ皆農人或ハ小資本ノ商人トス、同教分會無シ、縣内ニハ僧侶無ク、尼僧二人、道士カ一人有リ、民國十七年國民黨カ迷信ヲ破除セシ際寺廟破壊サレタルモノ甚々多シ

城隍廟ハ毎十月一日城隍出廻典禮ヲ舉行シ、全縣ノ人民之ニ參加ス
 事變後ハ地方ノ治安悪キ爲メ本典禮ハ停止セリ、
 石亭山鎮ニ娘々廟一ヶ所アリ、房舍三十餘間アリ、其他ハ軍事上ノ
 要地タリシタメ匪軍之ニ據リシカ民國二十八年十月娘々廟ヲ全部ニ
 燒毀シ、僧侶ハ他へ避難セリ

第二、回 教

(一) 寺院數、教長數、教徒數

清真寺、維新街二十五號、教長蘇耀東、教徒男三百十五名、女二
 百九十三名、合計六百八名

(二) 勢力狀況

教民ハ自己ノ生活ニ追ハレ團體ニ對シテハ熱心ナラス、^{從テ}勢力無シ

(三) 政治ト回教徒トノ關係

不良思想無ク更ニ政治常識モ無シ

(四) 回教徒工作狀況

無

(五) 信仰生活狀況

毎日禮拜ヲ行ヒ酒・煙草・豚肉ヲ嚴禁ス

(六) 本地回民ト他地回民トノ差異

無

(七) 回民ト一般漢民トノ差異點

回教教規ヲ嚴守スル以外ハ全ク漢民族ニ同化セリ

第三、佛 教

(一) 寺廟數、僧尼數

1. 廣化菴、南關中大街、尼僧常海、徒弟一人

2. 大明寺、方家前街、縣公署保管

3. 三義廟、東關閣外、東關村保管

4. 天仙行宮、西長堤村北、西長堤村保管

5. 關帝廟、公署前街、縣公署保管

以上僧尼廟五ヶ所、尼僧二人有り

(二) 勢力状況 勢力無し

(三) 政治ト佛教トノ關係

匪カ宗教ニ反對セシ爲メ僧尼ハ殆ント全テ逃走シ、只尼二名殘レ

(四) 佛教ノ工作状況

事變前ニハ諸廟會アリシモ事變後ハ皆停止セリ

(五) 僧尼信仰生活状況

毎日香ヲ焚キ經ヲ讀ム外何事ヲモ爲サス

(六) 本縣佛教ノ特徴 無

第四、道 教

(一) 廟觀數、道士數

菩薩廟、關廟大街、道士關素玄一人

- (二) 勢力狀況 勢力無し
- (三) 政治ト道教トノ關係 無
- (四) 道教工作狀況 事變前ニハ毎年廟會ヲ舉行セシモ事變後ハ停止セリ
- (五) 道士信仰生活狀況 毎日經ヲ讀ミテ正氣ヲ涵養シ奸佞ヲ消滅シ孝悌忠信禮義廉恥ノ心ヲ振起ス
- (六) 本縣道教特徵 無

第十三章 正定縣

第一節 社會團體、政治團體、思想團體及ヒ其ノ他ノ文化團體

第一、概況

清朝ノ時代ニ正定縣ハ正定府ト稱セリ。民國以來石門發達セン爲メ正定ハ發達セス、從テ諸團體モ殆ト發展セサリキ、唯學變前關帝廟街ニ紅十字會一ヶ所アリキ、本會ハ民國十四年創立サレ主腦者（婁靜軒）ハ正定縣人ニシテ吳佩孚將軍ノ部下ナリキ。民國二十一、二年頃ヨリ會務次第ニ衰ヘ、事變ノ際婁靜軒死去シ、本會モ亦直ニ停止セリ。

第二節 宗教

第一、概況

正定ノ開元時代ハ長山郡ト稱セリ。宗教ハ發達シ「佛教臨濟宗」此處ニ發源シタリ。城内ニ隆興寺有リ隨朝時代ノ建築ニ係リ。唐朝時代及ヒ元・明ノ時代ニ修理ヲ加ヘタリ。寺内ニ大佛有リ高サ七十三尺、四十二ノ手有リ。唐朝（周世宗）ニ此ノ大佛ヲ毀壞シテ銅錢ヲ製造セリ其ノ後宋太祖カ太原ヲ攻撃シテ成功セサリシ時正定府ニ兵ヲ止メ隆興寺ノ土製佛像ヲ建築セリ。（原名龍興寺）只今廟寺ハ破壞セルモ土製佛像ハ巍立セリ。

弘法大師ハ法名ヲ空海ト稱シ中國ニ留學セル僧ナリ。其ノ佛參地ハ西藏ノ藏龍寺ニシテ正定ノ隆興寺ニ非ス。臨濟宗ノ正定ニ於テ發源シタルハ達摩（禪宗）祖師第九代ノ義玄禪師カ正定ニ來リ滹沱ニ住ミシヲ以テナリ。後滹沱水災ノ爲メ正定城ニ移レリ。義玄禪師死後

其ノ弟子達ニ依リ臨濟寺派カ創成サレ、佛教五派中最モ盛大トナレ
 リ、民國十七年ニ至リ國民黨ノ專政時代ニ於テハ一般不良份子ノ爲
 ニ破壊サレ其ノ損害大ナルモノアリ
 同教徒ノ正定ニ於ケル人口僅カニ九百三十名ニシテ勢力ハ薄弱ナリ

第二、同 教

(一) 寺院數

1. 寺院一ヶ所 城内南蒼西街

2. 教長數 劉希文一名

3. 教徒數 男子、五百〇八名

女子、四百二三名

合計、九百三一名

(二) 勢力狀況

教民皆ナ貧困ニシテ勢力ハ薄弱ナリ

(三) 政治ト回教徒ノ關係

知識份子少ク政治、思想ハ全然缺乏セリ

(四) 回教徒ノ工作狀況

毎週日曜日ニ誦經ト朝拜ヲ爲ス外特記スヘキモノ無シ

(五) 信仰生活狀況

教徒ハ教規ヲ嚴守シ參拜ノ禮節ヲ保守セリ

(六) 本地回民ト他地回民トノ差異

無

(七) 回民ト一般漢民トノ差異

回民ハ豚肉ヲ食セス其他ノ宗教ヲ信仰せ來サル外ハ一般漢民ト異ラス

第三、佛 教

(一) 寺廟數、僧尼數

ノ隆興寺、東門里、住持純三一名、僧徒二十三名

2. 臨濟寺、城內南倉西、住持會祥一人、僧徒無シ
3. 崇因寺、北門裡、住持顯照一人、僧徒十二名
4. 賈村寺、賈村、住持續貞、僧徒七名
5. 南化寺、南化村、住持通泰
6. 永壽寺、木堂、住持澄印
7. 願行寺、辛安村、住持同永壽寺一人
8. 興隆寺、錢家庄、住持昌榮
9. 崇慶寺、南曲陽、住持秀山
10. 同慶寺、巧女村、住持誠瑞
11. 興隆寺、西洋、住持本瑞
12. 福慶院、永安、住持覺化
13. 關帝廟、三角村、住持秋慧
14. 毘盧寺、上京村、住持續祿

15. 大會寺、陳文村、住持雷突

16. 行善寺、義堂村、住持定韓

17. 西丈寺、小西文村、住持如月

18. 觀音堂、拐角鋪、住持寬恒

19. 蘭帝廟、南蘭、住持性參

以上ノ寺廟ハ合計十九ヶ所、僧徒ハ六十一人

(二) 勢力狀況

正定ニハ佛教寺廟多ク、従前ハ僧徒ノ往來參拜盛シナリシモ、事變後ハ頓ニ衰ヘタリ

(三) 政治ト佛教トノ關係

「誦經」「祈禱」ニ專念シ政治ヲ問ハス

(四) 佛教工作狀況

僧侶ハ自耕自食シ或ハ各處カラ寄附金ヲ募リ生活ス

(五) 僧尼信仰ノ生活ノ

毎日「誦經」「拜佛」シ又時々「收徒」「傳戒」等ヲ爲ス

(六) 本縣佛教ノ特徴

無

(七) 其他

無

第四、道 教

(一) 廟觀數、道士數

ノ城隍廟、城内廟後街、住持傳宣恩、道士八名

(二) 勢力狀況

佛廟ノ多キニ對シ道廟ハ僅カニ一ヶ所アリ、從テ勢力無シ

(三) 政治ト道教トノ關係

道士ハ皆廟内ニ籠リテ外出セスシテ外界トノ往來少ク政治トノ關

係無シ

(四) 道教工作狀況

「毎日靜坐誦經」或ハ農業ヲ爲ス

(五) 道士信仰生活

毎年四月六日及ヒ五月十七日ノ二回廟祭ヲ舉行スル例ナルモ事變

後ハ未ダ舉行セス

(六) 本縣道教特徵

無

(七) 其他

無

第十四章 徐水縣

第一節 社會團體・政治團體・思想團體及ヒ其ノ他ノ文化團體

第一、概況

徐水縣ノ人民ハ良善ニシテ性格ハ溫和ナリ。縣内ニ紅十字會徐水分會アリ。事變後會長張英ハ病死シ從前ハ會員六十餘名有リシモ事變ノ影響ヲ受ケ現在僅カニ會員五人ニ減セリ。爲メニ本會ハ甚タ衰微セリ

文化團體ハ教育會一ヶ所アリ。ソノ領導組織ハ皆ナ縣公署ノ手ニヨツテ爲サル宗教聯合會一ヶ所所有リ。之モ縣公署ノ指導ニヨツテ組織セラレタリ本會ハ三月十五日成立ヲ宣言シ。尙未タ何等ノ工作ヲ爲サス

縣東方ノ一部ハ治安カ悪ク。匪群ノ首領劉萍ナル者カ婦女會、農民

會、打狗條ヲ組織セリ。此等ハ專ク人民ヲ擾亂シ治安ヲ破壞スルヲ以テ目的ト爲ス

第二、各團體狀況

一、紅十字會徐水分會

(一) 概況

1. 所在地 縣城北大街

2. 主腦者 黃映尙、徐水人、年十五歲、清朝主務官

3. 設立目的 「促進世界和平救濟災患」

4. 創立年月日及沿革

民國十七年六月創立サレ會長張英(男) 民國二十八年八月十七

歲ニシテ病死シ黃映南會長トナレリ

(二) 機構

會長ノ下ニ救濟・慈業・交際・文牘・庶務股ヲ置キ外ニ會監一

人ヲ置ク

(三) 會員

事變前六十餘人アリシモ事變後ハ僅カニ五人ニ減セリ

(四) 財産及ヒ經費

財産無シ

經費毎月五十圓、會員ノ負擔トス

(五) 工作狀況

毎佛誕時ニハ誦經拜佛ヲ爲ス二十八年度ニハ北京總會ヨリ玉米

麵二萬斤カ發給サレ難民ヲ救濟セリ

(六) 事變影響

會員減少セシ爲メ收入減シ會務困難トナレリ

(七) 其他 無

二、徐水縣宗教聯合會

(一) 概況

1. 所在地 縣公署内

2. 主腦者 方步雲、男五十歲、豐潤人、現徐水縣縣長

3. 設立目的

縣内ノ各宗教團體ヲシテ其ノ教義宣揚セシメ、民衆ヲ教化シ
優良ノ風俗ヲ養成シ社會ヲ安定セシムル目的ノ下ニ成立セリ

4. 創立 民國二十九年三月十五日

(二) 機構

會長、副會長各一人有リ其ノ下ニ總務教化ノ二股ヲ設ク

(三) 會員 三十五名(男子)

(四) 財産及ヒ經費

財産無シ、縣公署ヨリ毎月十六圓ヲ支給ス

(五) 工作狀況

儒、釋、道、回、聯合シテ習俗ノ改良社會ノ安定ニ努力ス

(六) 事變影響 無

三、徐水縣教育會

(一) 概況

1. 所在地 徐水縣公署內

2. 主腦者 縣長會長ヲ兼任ス

3. 設立目的

臨時政府教育宗旨及ヒ其ノ實施方針ニ照シテ教育事業ヲ研究
シ地方教育ノ發展ヲ圖ルヲ以テ目的ト爲ス

4. 創立 民國二十九年三月十五日

(二) 機構

正副會長各一人ヲ設キ其ノ下ニ總務、教育ニ股ヲ設ク

(三) 會員

全縣校長、教員一百二十八人皆會員タリ

(四) 財産及ヒ經費

財産無シ

經費ハ毎月二十五圓、縣公署ヨリ發給ス

(五) 工作狀況

學術、教育、講演會等ノ開催ヲ準備中

(六) 事變影響

無

第二節 宗 教

第一、概 況

徐水縣内ニ回教徒多ク其ノ數一千九百四十人アリ、平家營、勉家營六里鋪ノ住民ハ全部回民トス寺院等ハ民國十七年國民黨ノ破壞ニ遭

ヒ僧侶ハ夫々寺廟ヲ去リテ他ニ生活ノ道ヲ求メ。道士モ皆ナ驅逐サレタリ、此ノ故ニ各寺廟ハ皆ナ各地村長ノ手ニヨツテ保管サル

第二、回 教

(一) 寺院數、教長數、教徒數

1. 清真寺、北下關北大街、教長黑爾東、教徒二四三名
2. 清真寺、頭台、教長鑽寶珍、教徒一五二名
3. 清真寺、勉家營、教長楊正方、教徒四八三名
4. 清真寺、楊指揮營、教長張貴福、教徒九四名
5. 清真寺、中所營、教長馬金聲、教徒二〇四名
6. 清真寺、空城村、教長馬奉三、教徒一六八名
7. 清真寺、平家營村、教長鎖得聚、教徒五〇名
8. 清真寺、前所營、教長馬國損、教徒一五四名
9. 清真寺、六里鋪、教長馬洛忠、教徒四〇〇名

以上清眞寺九ヶ所・教長九名・教徒一千九百四十八名有り

(二) 勢力状況

徐水ハ出産豊富ニシテ教民ノ多クハ商業ヲ營ミ團結力甚タ強キヲ以テ勢力ヲ有ス

(三) 政治ト同教徒トノ關係

事變時ニ於ケル態度ハ漢民ト同シク思想モ良善ナリ

(四) 同教徒工作状況

無

(五) 信仰生活状況

毎日曜日ニ禮拜ヲ爲シ教規ヲ保守ス

(六) 本地同民ト他地同教徒トノ差異

無

(七) 同民ト一般漢民トノ差異點

豚肉ヲ食セス他宗教ヲ信セサル外一般漢民ト異ラス

第三、佛 教

(一) 寺廟數、僧尼數

1. 興國寺、縣城內、僧人無シ
2. 關帝廟、縣城內、僧人無シ
3. 關帝廟、青廟營、僧人二名
4. 永清寺、菱角營村、尼僧二名
5. 白衣菴、高家莊、尼僧五名
6. 北菴廟、南張平村、尼僧一名
7. 馬王廟、石橋村、保管人劉俊清
8. 龍母廟、大次良、保管人楊漢津
9. 舜王廟、小公村、保管人張義臣
10. 淨業寺、大龐村、保管人喬友亮
11. 寶藏寺、大龐村、保管人喬友亮
12. 關帝廟、謝坊村、保管人張義才

(二) 勢力状況

13. 王道廟、西村、保管人白振新
 14. 財神廟、西村、保管人白振新
 15. 玉皇廟、傅村、保管人劉洛義
 16. 三義廟、圈頭村、保管人錢有山
 17. 真武廟、謝坊營、保管人王金祿
 18. 三官廟、小龍村、保管人孫殿春
 19. 水月菴、張華村、保管人劉順財
 20. 關帝廟、馮家疃、保管人王洛林
 21. 皇娘廟、馮家疃、保管人王洛林
 以上寺廟二十一ヶ所、僧二名、尼僧八名、僧尼合計十名

民國十七年ニ國民黨カ廟宇ヲ破壊シ宗教ニ反對セシヨリ僧尼ノ生活ハ困難トナリ勢力衰ヘタリ

- (三) 政治ト佛教ノ關係 無
- (四) 佛教工作狀況
僧尼ハ死亡者ノ爲メニ誦經スル外工作無シ
- (五) 僧尼信仰生活狀況
常ニ誦經ヲ爲シ自耕自食ス
- (六) 本縣佛教ノ特徴
廟宇アリ僧尼 無キ者ハ村長之ヲ保管ス
- (七) 其他 無

第十五章 新樂縣

第一節 社會團體、政治團體、思想團體及ヒ其他文化團體無シ

第一、概況

新樂縣ニハ沙河アリ、縣内ノ大部分ハ砂地トス年々水災或ハ旱災有
リテ人民ハ困窮シ地瘠ス故ニ寺廟道觀少シ即チ民國前ハ寺廟道觀五
十八處アリシモ清末以來各所ノ寺廟道觀ハ破壊シ、人民ハ衣食足ラ
サルニ依リ固ヨリ修補ノ費用無ク現在ハ僅カニ寺廟八ヶ所殘レリ、
中三寺廟ニ住持有リ

同教ハ新樂縣ニ於テハ百餘年ノ歴史ヲ有シ現在教徒一千九百餘名ヲ
有ス、教民ハ多クハ貧困ナル小商人ト爲ス

第二、同教

(一) 寺院數、教長數、教徒數

1. 清真寺、彭家庄、教長底洛忠一名、教徒一千七百名

2. 清真寺、楊家庄、教長馬洛士一名、教徒二百七名

以上教長二名、教徒一千九百七名

(一) 勢力状況 勢力無し

(二) 政治ト回教徒トノ關係

知識份子無ク、思想善良ニシテ縣公署ノ命令ニ好ク服從セリ

(三) 回教徒ノ工作状況 無

(四) 信仰生活状況

毎金曜日清真寺ニ參拜シ禮拜ヲ爲シ、豚肉、煙草、酒ヲ飲食セス

(五) 本地回民ト他地回民トノ差異 無

(六) 回民ト一般漢民トノ差異

豚肉、煙草、酒ヲ嚴禁シ、他宗教ヲ信セサル外、一般漢民ト異ラ

ス

第三、佛 教

(一) 寺廟數、僧尼數

- 1. 大慈庵、新街鋪、住持仁合
- 2. 壽聖寺、南關、住持一名、僧徒三名
- 3. 興國寺、木村、住持僧徒無シ
- 4. 龍泉寺、東曹村、住持僧徒無シ
- 5. 報恩寺、小流村、住持僧徒無シ
- 6. 觀音堂、筆頭村、住持僧徒無シ
- 7. 觀音寺、彭家莊、僧人三名

(二) 勢力狀況

民國以來寺廟ハ破壞シテ修理ヲ施ス者無ク、僧侶ノ知識程度又極

メテ低ク、佛教ハ全ク勢力ヲ有セス

(三) 政治ト佛教トノ關係 關係無シ

(四) 佛教ノ工作狀況

工作無シ

(五) 僧尼信仰ノ生活狀況

毎日誦經ト拜佛ヲ爲ス

(六) 本縣佛教ノ特徴

無

第三、道

教

(一) 廟觀數、道士數

1. 火神廟、城南、住持張護法、道士無シ

2. 城隍廟、縣城內、住持張長道、道士無シ

(二) 以上道廟二ヶ所、道士二名有リ

(三) 勢力狀況

勢力無シ

(四) 政治ト道教トノ關係

關係無シ

(五) 道教工作狀況

工作無シ

(六) 道士信仰生活

毎日拜佛、誦經、燒香、祈禱ヲ爲シテ修行ス
(六) 本縣道士ノ特徴

收入ノ途無ク常ニ外ニ出テテ乞食ヲ爲ス

附録

河北省保定道團體及宗教統計表

縣名	清苑	望都	定縣	新樂	正定	石門市	井陘	獲鹿	徐水	定興	涞水	易縣	涿縣	良鄉	宛平	總計
社會團體	五七六五名					四六、六三六名		六一名	一六〇名	一六〇名		一、六二四名	六、一五六名	三、七三名	九、二七名	五、八四一、八一八名
同教	四七〇八名			一〇、五〇〇名	九三一一名	一、四四六名	二、九名	五〇名	一、九四八名	六、六三名	六〇八名	一、六二四名	八、一四名	一、四三〇名	一、六六四名	二、八二九、八八名
佛敎	一七九名	七所		三五〇名	六一九名	五二名		四、四名	一〇名	二、二名	二、五名	五、五名	三、五名	一、五名	一〇、九名	三、七二二名
道士	二、二名			二、三名	八名			三、八名		一、一名	一、一名	一、四名	一、四名	八名	二、七名	一、六〇名
總計	一〇、五二三名	七所		一〇、五五八名	一〇、〇〇名	四八〇、八九名	二、九名	一、三八名	二、二八名	一、七七九名	六、一七名	三、二六七名	二〇、二三名	一、八二六名	二、七二七名	八、六五八、二名

「註」

本表ニ列記スルハ出張調査セル各縣ノミトス